

第五十六回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十五號

昭和四年三月六日(水曜日)

午前十時十九分開議

議事日程 第二十五號 昭和四年三月六日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第十七日)

第二 請願委員長報告

第三 同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案(政府提出)

臺灣事業公債法中改正法律案(衆議院送付)

第四 製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ橫濱正金銀行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ受クルコトニ關スル法律案(政府提出)

健康保險特別會計法中改正法律案(衆議院送付)

第五 健康保險法中改正法律案(衆議院送付)

第六 府縣制中改正法律案(衆議院送付)

第七 市制中改正法律案(衆議院送付)

第八 町村制中改正法律案(衆議院送付)

第九 北海道會法中改正法律案(衆議院送付)

第十 北海道地方費法中改正法律案(衆議院送付)

第十一 昭和三年勅令第二百二十九號(承諾ヲ求ムル件)

第十二 大正十年法律第四十七號改正法律案(衆議院送付)

第十三 馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案(衆議院送付)

第十四 馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案(衆議院送付)

第十五 第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 楯岡、寒河江間鐵道敷設ノ請願

第十七 軍人傷痍記章令中改正ノ請願

第十八 長崎縣ニ高等水產教育機關設置ノ請願

第十九 山陰線鐵道速成ノ請願

第二十 東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル請願

第二十一 越中島線鐵道速成及越中島ニ貨物驛建設ノ請願

第二十二 飛行事業ノ統制並擴張ニ關スル請願

第二十三 知覽區裁判所出張所設置ノ請願

第二十四 名松線鐵道速成ノ請願

第二十五 群馬縣吾妻郡六合村ニ郵便局設置ノ請願

第二十六 一時金廢兵恩給法改正即行ニ關スル請願

第二十七 飲食店取締法制定ニ關スル請願

第二十八 石狩川架橋ノ請願

第二十九 安倍川改修ノ請願

第三十 新宮川改修ノ請願

第三十一 相野谷川改修ノ請願

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

去ル二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

裁判所ノ設立ニ關スル法律案

大正二年法律第九號中改正法律案

借地借家臨時處理法中改正法律案

同日本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正十四年度第一豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十四年度第二豫備金支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正十五年度第一豫備金支出ノ件

昭和十五年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十五年度第二豫備金支出ノ件

昭和十五年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和二年年度第二豫備金支出ノ件

昭和二年年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和二年年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

資源調査法案

一昨四日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 男爵 今枝直規君

副委員長 內藤久寛君

昭和二年法律第十五號中改正法律案外七件特別委員會

委員長 伯爵 二荒芳徳君

副委員長 加藤政之助君

神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案外二件特別委員會

委員長 公爵 鷹司信輔君

副委員長 眞野文二君

朝鮮簡易生命保險特別會計法案外一件特別委員會

委員長 男爵 小畑太郎君

副委員長 湯淺倉平君

取引所法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 侯爵 大久保利武君

副委員長 水上長次郎君

昨五日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和三年勅令第二百二十九號(承諾ヲ求ムル件)

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國

臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案

臺灣事業公債法中改正法律案

製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ橫濱正金銀行ニ對スル債權ノ讓渡

ヲ受クルコトニ關スル法律案

健康保險特別會計法中改正法律案

健康保險法中改正法律案

府縣制中改正法律案

市制中改正法律案

町村制中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵 兒玉秀雄君

副委員長 男爵 中島久萬吉君

大正十四年法律第二十九號中改正法律案特別委員會

委員長 子爵 片桐貞央君

副委員長 男爵 赤松範一君

蠶絲業法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 今井五介君

副委員長 尾崎元次郎君

開墾助成法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 子爵 伊集院兼知君

副委員長 男爵 黒川幹太郎君

國寶保存法案特別委員會

委員長 侯爵 細川護立君

副委員長 高田早苗君

家畜保險法案外一件特別委員會

委員長 男爵 足立豐君

副委員長 大城兼義君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案可決報告書

大正十三年法律第十號中改正法律案可決報告書

學校及圖書館特別會計法中改正法律案可決報告書

本日第六部ニ於テ請願委員青木周三君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果土田萬助君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 去ル三日恒德王殿下貴族院令第二條ニ依リ議席ニ列セラレマシタ、依テ其席次ハ稔彦王殿下ノ次席トシ其部屬ヲ第二部ニ定メマシタ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付キ御諮リ致シマス、加太邦憲君病氣ニ付キ會期中ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 一昨四日藤田男爵都合ニ依リ國寶保存法案特別委員ノ辭任ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、同君ノ補闕トシテ藤村男爵ヲ指名イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノコトニ付御諮リイタシマス、本日ノ日程第一、國務大臣ノ演說ニ關スル件ハ、本日モ後廻ハシニ致シタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、請願委員長報告

〔子爵清岡長言君演壇ニ登ル〕

○子爵清岡長言君 請願委員會ノ第二回即チ昭和四年二月十七日ヨリ同三月五日マデノ御報告ヲ致シマス、請願委員會ハ去ル三月一日ニ開會イタシマシテ、審議ヲ進メマシタ、各分科會ハ總計十一回即チ第一、第二、第四分科ハ各三

回、第三分科ハ二回デアリマス、請願文書表報告ハ二月二十日、二月二十七日ノ二回請願委員會特別報告ハ三月一日ニ一回デゴザイマス、而シテ受領イタシマシタ件數ハ百二件、百六十二通、是ガ連署致シテ居リマス人名數ハ六万八千二百六十六名デゴザイマス、次ニ審査ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、第一回御報告ノ際文書表ニ未ダ掲載イタシテ居ラヌ件數ガ三十六件百八十六通デ、第一回報告後受領イタシマシタモノガ百二件、百六十二通デ合計百三十八件、三百四十八通デゴザイマス、此中第五回、第六回ノ請願文書表ニ掲載イタシマシタ件數ハ百二件三百七通、他ニ第一回委員長報告ノ際文書表ニ掲載シタルモノノ中審査未了ノモノ百件、百二十通、合計二百二件四百二十七通デゴザイマス、此結果院議ニ付スベシト議決イタシタモノガ三十五件、四十一通、審査未了ニ屬スルモノ百六十七件、三百八十六通デゴザイマス、尙ホ請願文書表ニ未ダ掲載シテ居ラヌ件數ハ三十六件四十一通デ、蓋シ是ハ昭和四年三月五日ノ午後四時締切マデニ屬スル方デゴザイマス、右御報告ニ及ビマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月五日

貴族院議長公爵德川家達殿
衆議院議長 元 田 肇

同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタル帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案

第一條 同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約第八編第一款第一附屬書第一號乃至第三號又ハ第八號乃至第十號ニ該當スル損害ヲ被リタル帝國臣民ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ本法ニ依リ救恤金ヲ交付スルコトヲ得

一 船舶ノ損害ニ付大正十四年法律第三十九號ニ依リ救恤金ノ交付ヲ受ケタル者

二 同法第四條ニ規定スル期日迄ニ申請ヲ爲サザリシ爲同法ニ依リ救恤金ノ交付ヲ受ケザリシ者

第二條 前條救恤金ノ總額ハ四百萬圓以內トシ賠償金特別會計ヨリ之ヲ支出ス

第三條 第一條第一號ニ該當スル者ノ救恤金ノ交付ハ大正十四年法律第三十九號第三條ノ規定ニ基キ爲シタル申請ニ依リ、第一條第二號ニ該當スル者ノ救恤金ノ交付ハ第四條ノ申請ニ依リ救恤審査會ノ審査ヲ經テ主務大臣之ヲ決定ス

救恤審査會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 第一條第二號ニ該當スル者ニシテ救恤金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ昭和四年九月十五日迄ニ申請ヲ爲スベシ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員森恪君演壇ニ登ル〕

○政府委員(森恪君) 本法律案提出ニ至リマシタ事情ヲ一應申上ゲマス、同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リマシタ帝國臣民ニ對シマシテ、大正十四年法律第三十九號ニ依ッテ救恤ヲ行ッテ居リマス、當時船舶ノ損害ヲ受ケタモノ竝ニ期日迄ニ申請セザリシ爲、大正十四年ノ法律ニ依ル救恤ヲ受ケナカッタモノニ對シマシテ、今回追加救恤ノ必要ヲ認メマシテ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラントラ御願ヒ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ハ昭和二年法律第十五號中改正法律案外七件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第四、臺灣事業公債法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

臺灣事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

臺灣事業公債法中改正法律案
臺灣事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「一億五千三十萬圓」ヲ「一億五千二百萬圓」ニ改ム

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 臺灣事業法中改正法律案ニ付キマシテ、御説明ヲ申上ゲマス、臺灣ニ於ケル炭田ノ開發ヲ促進シ、鐵道運轉用石炭ノ供給ヲ潤澤ナラシムルト共ニ該地方交通ノ發達ニ資スルガ爲ニ、太陽鑛業株式會社所有ノ三貂嶺、菁桐杭間ノ鐵道ヲ買收スルノ必要ヲ生ジマシタノデアリマス、其買收ノ代價ハ公債ヲ以テ之ヲ交付スルコトニ致シマス爲、臺灣事業公債法中起債制限額ヲ改正スルノ必要ヲ生ジマシテ、改正法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレントラ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ鐵道敷設法中改正法律案外二件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第五、製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ橫濱正金銀行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ受クルコトニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ橫濱正金銀行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ受クルコトニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ橫濱正金銀行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ受クルコトニ關スル法律案

第一條 製鐵所特別會計ハ中華民國漢冶萍煤鐵廠有限公司ニ對スル貸付

資金トシテ大藏省預金部ガ昭和二年一月三十一日橫濱正金銀行ニ貸付シタル二百萬圓ニ關スル債權ノ讓渡ヲ受ケ其ノ債權額ニ相當スル金額及其ノ利息ノ債務ヲ大藏省預金部ニ對シ負擔スルコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ製鐵所特別會計ガ讓渡ヲ受ケタル債權ノ元本ノ償還金ハ之ヲ資本勘定ノ歲入トシ其ノ利子ハ之ヲ作業勘定ノ歲入トス

附 則

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 中華民國漢冶萍煤鐵廠有限公司ハ現時ノ支那國內ノ兵亂ノ影響ヲ受ケマシタガ爲メ其經營方法宜シキヲ得ザリシ等ノ爲メ業績舉ラズ、非常ナル資金難ニ陥リマシタノデ、大正十五年初メ頃ニハ殆ド作業休止ノ外ナキ狀態トナリマシタ爲ニ、同公司ハ大正十五年九月特ニ代表者ヲ我國ニ派遣イタシマシテ、本邦側ノ援助ヲ求メタノデアリマス、公司ノ業態ガ右ノ如クデアリスルカラ、此儘放任イタシマシタナラバ、同公司ハ結局破綻トナリ、我製鐵所ハ遂ニ使用原料供給ノ途ノ一部ヲ喪失スルノミナラズ、既ニ同公司ニ貸付イタシマシタル我多額ノ債權モ、結局回收不能ニ陥ルノ虞ガアッタノデアリマス、仍テ之ニ對スル善後措置トシテ、同公司ヲシテ事業ノ整理改善ヲ行ハシムルコトヲ條件トシテ、其事業再開ノ爲メ必要ナル資金二百萬圓ヲ融通イタシタノデアリマス、而シテ該融通金ハ製鐵所ニ於ケル製鐵原料ノ獲得ヲ確實ニスルコトヲ主タル目的トスルモノデアリマスルガ故ニ、元來製鐵所特別會計ヨリ貸付クベキ筋合ノモノデゴザリマスルガ、當時ノ同特別會計法ニ於キマシテハ、斯ノ如キ資金ノ貸付ニ關スル規定ガナカッタノデアリマス、是ガ爲ニ臨機ノ處置トシテ、大藏省預金部ヨリ右資金ヲ融通イタシテ置キマシテ、他日製鐵所特別會計ニ於テ斯カル貸付ノ出來ル規定ヲ設ケマシタ上、右二百萬圓ヲ同會計ニ繼承スルコトニ致シタノデアリマス、仍テ前述ノ預金部債權ヲ製鐵所特別會計ニ肩替リシ、且ツ之ニ伴フ歲入歲出ノ關係ヲ規定スル爲メ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御協賛アラントコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ昭和二年法律第十五號中改正法律案外八件

ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、健康保險特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、日程第七、健康保險法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

健康保險特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

健康保險特別會計法中改正法律案

健康保險特別會計法中左ノ通改正ス

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

前條ノ一般會計ヨリ繰入ルル金額ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ル但シ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユルコトヲ得ズ

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

健康保險法中改正法律案

健康保險法中左ノ通改正ス

第八條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ使用スル事業主ヲシテ其ノ使用スル者ノ異動、報酬等ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ文書ヲ提示ヒシメ其ノ他健康保險ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ滯納スル者アルトキハ

保險者ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手數料及延滞金ヲ徵收ス

第十一條ノ二 前條ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ納付セザルトキハ保險者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得但シ保險者ガ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得ルハ政府ガ保險者ナル場合ニ限ル

保險者ガ前項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ノ請求ヲ爲シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ保險者ハ徵收金額ノ百分ノ四ヲ當該市町村ニ交付スベシ

前二項ノ規定ニ於テ町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第十一條ノ三 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十一條ノ四 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十三條中「工場法ノ適用ヲ受クル工場」ヲ「工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場」ニ定ム

第十六條中「工場法」ヲ「工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場」ニ改ム

第二十條中「喪失ノ日前一年內ニ於テ百八十日以上被保險者タリシモノ又ハ」ヲ削ル

第二十七條 健康保險組合ハ事業主及其ノ事業ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十五條第二項ヲ削ル

第四十七條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メタル日より起算シ百八十日ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サズ

第四十九條第一項中「二十日」ヲ「三十日」ニ、「二十圓」ヲ「三十圓」ニ改ム

第六十一條中「鬭爭若ハ泥醉」ヲ「鬭爭、泥醉若ハ著シキ不行跡」ニ改ム

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分

ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 前條ノ規定ニ依リ訴願ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ第三次健康保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スベシ

第八十四條 第十一條ノ二ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條第三項中「民事訴訟法ノ證據調ニ關スル規定」ノ下ニ「及民事訴訟費用法第九條及第十一條乃至第十三條ノ規定」ヲ加フ

第八十六條中「若ハ裁決書」ヲ削リ「第六百六十七條及第六百七十四條乃至第六百七十七條」ヲ「第五百五十八條第二項及第五百五十九條」ニ改ム

第九十二條 事業主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テハ本法又ハ本法ニ基キテ發

スル命令中事業主ニ適用スベキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者之ヲ適用ス

第九十三條 事業主ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第八十六條ノ改正規定中民事訴訟法ノ規定ノ準用ニ關スル部分ハ大正十五年法律第六十一號施行ノ日より之ヲ施行ス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今議題ニ供セラレマシタル健康保險特別會計法中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ御説明イタシマス、政府ノ管掌スル健康保險事業ニ對スル一般會計繰入金ハ、大體ニ於テ其事務費ニ充當スルノ趣旨ヲ以テ、被保險者一人當リ一年平均二圓以内ニ於テ、保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ繰入ル、コトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、然ルニ健康保險事業實施後ノ經驗ニ徴シマスルト、該繰入金ガ其算定ノ基礎ヲ保險給付金ニ置イテ居リマスル爲ニ、被保險者及標準報酬ノ増減等ニ依リマシテ、事

務費ニ増減ヲ來スコトニ相成リ、其事務ノ運行ヲ妨ゲマスノデ、今回之ヲ改正イタシマシテ、一般會計ヨリ繰入ル、金額ハ、被保險者一人當リ一年平均二圓以内ニ於テ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ルコトヲ致シタイト存ジマシテ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒協賛アランコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 健康保險法中改正法律案ニ付キマシテ、其提案ノ理由ヲ御説明ヲ申上ゲマス、御承知ノ如ク健康保險ノ事業ハ昭和二年一月一日ヨリ施行セラレタノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ此事業ガ小額所得勤勞者ハ固ヨリ、産業界ニ對シテモ密接ナル關係ガアルニ鑑ミマシテ、其施行ニ當ッテハ、常ニ深甚ナル注意ヲ拂ッテ居ル次第デアリマス、而シテ今日迄ノ經過ニ徴シマスレバ、大體ニ於テ相當ナル成績ヲ舉ゲテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ實施以來經驗ヲ重ネマスニ從ヒ、諸般ノ事務手續、保險料ノ徵收方法、保險給付ノ内容等ニ關シマシテ、尙ホ多少ノ改善ヲ加ヘマシテ、本事業ノ施行ヲ圓滑ニ致シ、事務ノ簡捷ヲ圖ルノ必要アリト認メラレマスノデ、茲ニ健康保險法中改正ヲ要スル部分ニ付キマシテ、本改正案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ御願ヒ申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

健康保險特別會計法中改正法律案外一件特別委員

侯爵 佐竹 義春君	伯爵 黒木 三次君	子爵 豊岡 圭資君
嘉納 治五郎君	若林 資藏君	男爵 佐藤 達次郎君
小久保 喜七君	津久居 彦七君	本間 千代吉君

○議長(公爵德川家達君) 日程第八ヨリ第十二、政府提出、衆議院送付、第一讀會

府縣制中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

府縣制中改正法律案

府縣制中左ノ通改正ス

第三條ノ二 府縣ハ府縣條例ヲ設クルコトヲ得

府縣ハ府縣ノ營造物ニ關シ府縣條例ヲ以テ規定スルモノノ外府縣規則ヲ設クルコトヲ得

府縣條例及府縣規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スベシ

第四條ニ左ノ二項ヲ加フ

府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ分チテ數選舉區ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ於テ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條第二項中「府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム」ヲ「府縣條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第十五條第一項ニ左ノ但書ヲ加ヘ同條第四項中「市町村ノ區域」ヲ「第一項ノ規定ニ依ル投票區ノ區域」ニ改ム

但シ第四條第三項ノ規定ニ依リ市ノ區域内ニ數選舉區アルトキハ其ノ選舉區ニ依ル

第三十七條第八項ヲ左ノ如ク改ム

第三十四條第八項ノ規定ハ第一項及前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條第三號中「夫役現品ノ賦課徵收」ノ下ニ「並ニ府縣費ノ分賦」ヲ加ヘ同條第一號ヲ第二號トシ以下順次繰下ゲ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

一 府縣條例及府縣規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

第四十四條中「府縣知事若ハ内務大臣」ヲ「關係行政廳」ニ改ム

第五十條第三項ヲ左ノ如ク改ム

府縣知事必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ三日以内府縣會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ府縣會ノ會期ヲ延長シタルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ

臨時會ニ付スベキ事件ハ府縣知事豫メ之ヲ告示スベシ

臨時會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ第二項及前項ノ規定ニ拘ラズ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

第五十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス議員定員ノ三分ノ一以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ臨時會招集ノ請求アルトキハ府縣知事ハ之ヲ招集スベシ

第五十五條 法令ニ依リ府縣會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第十八條、第二十七條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ決定ス

府縣會ハ議員中異議ナキトキハ前項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムベキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ズ

第五十七條ノ二 府縣會議員ハ府縣會ノ議決スベキ事件ニ付府縣會ニ議案ヲ發スルコトヲ得但シ歳入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル發案ハ議員三人以上ヨリ文書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十六條第七項中「第八十二條第一項」ノ下ニ「又ハ第二項」ヲ加ヘ同條第三項ヲ削ル

第六十八條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 府縣會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、第五十四條ノ除斥ノ爲會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ府縣知事ニ於テ府縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ府縣會ノ權限ニ屬スル事件ヲ府縣會ニ代ハリテ議決スルコト

第七十條中「第五十七條第一項」ノ下ニ「第五十七條ノ二」ヲ加フ

第七十一條第一項中「若名譽職參事會員半數以上ノ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ」ヲ「名譽職參事會員定員ノ半數以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ府縣參事會招集ノ請求アルトキハ」ニ改ム

第七十四條第一項中「第六十六條第四項」ヲ「第六十六條第三項」ニ改ム

第七十七條第一項中「府縣會ノ議決ヲ經テ」ヲ「府縣條例ヲ以テ」ニ、同

條第三項中「府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム」ヲ「第一項ノ府縣條例中ニ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第七十八條第二項第六號中「賦課徵收スル事」ヲ「賦課徵收シ竝ニ府縣費ヲ分賦スルコト」ニ改ム

第八十一條第三項ヲ左ノ如ク改ム

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

第八十二條 府縣會又ハ府縣參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ之ヲ再議ニ付セズ又ハ再選舉ヲ行ハシメズシテ直ニ取消スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル府縣會又ハ府縣參事會ノ議決又ハ選舉仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ之ヲ取消スベシ

前二項ノ取消處分ニ不服アル府縣會又ハ府縣參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及第二項ノ取消處分ハ府縣會又ハ府縣參事會開會中ニ非ザルトキハ府縣知事ハ直ニ之ヲ告示スベシ

第八十三條 府縣會又ハ府縣參事會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ府縣知事ハ其ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ內務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル府縣會又ハ府縣參事會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ府縣知事ハ內務大臣ノ指揮ヲ請フベシ

府縣會又ハ府縣參事會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依リ左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他ノ府縣ノ義務ニ屬スル費用

二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫

防ノ爲ニ要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用

第八十四條 削除

第八十五條 府縣會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、第五十四條ノ除外ノ爲會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ府縣知事ニ於テ府縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣會ノ權限ニ屬スル事件ヲ府縣參事會ノ議決ニ付スルコトヲ得

府縣參事會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ又ハ第七十四條第一項但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハザルトキハ府縣知事ハ內務大臣ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得

府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ前項ノ例ニ依ル

府縣參事會ノ決定、裁決又ハ裁定スベキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル府縣知事ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前四項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ府縣知事ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ府縣會又ハ府縣參事會ニ報告スベシ

第八十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ニ依リ府縣知事ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準ジ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十七條中「府縣參事會」ノ上ニ「府縣會及」ヲ加フ

第九十三條中「府縣知事之ヲ定ム」ヲ「府縣條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第九十四條第二項中「府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム」ヲ「府縣條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第百條 使用料及手數料ニ關スル事項ニ付テハ府縣條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ

第百三條 府縣稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 直接國稅ノ附加稅

二 營業稅

三 雜種稅

府縣ハ法律ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ニ分賦スルコトヲ得

府縣稅ノ賦課徵收及府縣費分賦額ノ徵收ニ關シテハ本法其ノ他ノ法律ニ規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第百六條ノ二 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ府縣稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第百八條第一項中「營業稅附加稅」ヲ削ル

第百十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ府縣費ノ分賦ニ之ヲ準用ス

第百十四條中「府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ」ヲ「府縣條例ヲ以テ」ニ改ム

第百二十三條中「府縣知事」ヲ「府縣」ニ改ム

第百二十六條ノ五中「府縣知事ハ」ヲ削ル

第百二十八條第二項中「第八十二條第二項」ヲ「第八十二條第四項」ニ改ム

第百三十條 削除

第百三十一條第一項中「勅裁ヲ經テ」及同條第三項中「內務大臣ノ許可ヲ得テ」ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

第五十條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ府縣會ニ之ヲ準用ス

第百三十三條 左ニ掲グル事件ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノハ內務大臣ノ許可ヲ受クベシ

一 使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト

二 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

第百三十八條ノ二 本法ニ於ケル直接國稅ノ種類ハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

附 則

市制中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

市制中改正法律案

市制中左ノ通改正ス

第二十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

市會議員中議員ヲ生ジタル場合ニ於テ第三十條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第三十三條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ノ適用ヲ受ケル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ議員ガ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ市長若ハ市會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フベシ

第二十一條ノ三 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間

内ニ之ヲ市長（第六條ノ市ニ於テハ區長ヲ經テ）ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定シ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ修正セシムベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告示セシムベシ同項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキ亦同ジ

第二十一條ノ四第三項乃至第五項ヲ左ノ如ク改ム

前條第二項又ハ第三項ノ場合ニ於テ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ市長ハ直ニ之ヲ修正シ第六條ノ市ニ於テハ區

長ヲシテ之ヲ修正セシムベシ

前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告示セシムベシ

投票分會ヲ設ケル場合ニ於テ必要アルトキハ市長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ調製セシムベシ

第二十一條ノ五第三項中「異議申立ニ對スル市會ノ決定」ヲ「異議ノ決定」ニ改ム

第三十九條ノ二中「第二十五條ノ三、ノ下ニ「第二十七條ノ二第二項、ヲ加フ

第四十六條中「市長又ハ監督官廳」ヲ「關係行政廳」ニ改ム

第五十一條第一項中「議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ」ヲ「議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ市會招集ノ請求アルトキハ」ニ、同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

市長ハ會期ヲ定メテ市會ヲ招集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ市長ハ更ニ期限ヲ定メ市會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

第五十五條 法律勅令ニ依リ市會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第二十五條、第二十八條及第三十條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

市會ハ議員中異議ナキトキハ前項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムベキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ズ

第五十七條ノ二 市會議員ハ市會ノ議決スベキ事件ニ付市會ニ議案ヲ發スルコトヲ得但シ歳入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル發案ハ議員三人以上ヨリ文書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條 市ニ市參事會ヲ置キ議長及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス第六十五條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改ム

名譽職參事會員ノ定數ハ十人トス但シ勅令ヲ以テ指定スル市ニ於テハ市條例ヲ以テ十五人迄之ヲ増加スルコトヲ得

名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選舉スベシ

第六十七條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 市會成立セザルトキ、第五十二條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ市長ニ於テ市會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ市會ニ代ハリテ議決スルコト

第六十八條中「名譽職參事會員定數ノ半數以上ノ請求アルトキハ」ヲ「名譽職參事會員定數ノ半數以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ市參事會招集ノ請求アルトキハ」ニ改ム

第七十二條第一項但書ヲ削ル

第七十三條 市長ハ有給吏員トス但シ市條例ヲ以テ名譽職ト爲スコトヲ得

市長ノ任期ハ四年トス

市長ハ市會ニ於テ之ヲ選舉ス

市長ノ在職中ニ於テ行フ後任市長ノ選舉ハ現任市長ノ任期滿了ノ日前二十日以内又ハ現任市長ノ退職ノ申立アリタル場合ニ於テ其ノ退職スベキ日前二十日以内ニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ズ

第三項ノ選舉ニ於テ當選者定マリタルトキハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スベシ

市長ニ當選シタル者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ其ノ當選ニ應ズルヤ否ヲ申立ツベシ其ノ期間内ニ當選ニ應ズル旨ノ申立ヲ爲サザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十二條第四項ノ規定ハ市長ニ當選シタル者ニ之ヲ準用ス

名譽職市長ハ市公民中選舉權ヲ有スル者ニ限ル

有給市長ハ其ノ退職セントスル日前三十日迄ニ申立ツルニ非ザレバ任期中退職スルコトヲ得ズ但シ市會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七十四條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前條第四項乃至第七項ノ規定ハ市參與ニ之ヲ準用ス

第七十五條第三項中「第七十三條第三項」ヲ「第七十三條第四項乃至第七項及第九項」ニ改ム

第七十六條中「市長」ヲ「有給市長」ニ改ム

第七十八條中「市長」ヲ「有給市長」ニ改ム

第七十九條第二項中「第七十五條」ノ上ニ「第七十三條第四項乃至第七項、」ヲ加フ

第八十二條第二項中「市會之ヲ定ム」ノ下ニ「此ノ場合ニ於テハ第七十三條第四項乃至第七項ノ規定ヲ準用ス」ヲ加フ

第八十三條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第七十三條第四項乃至第七項ノ規定ハ委員ニ之ヲ準用ス

第九十條 市會又ハ市參事會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ市長ハ議決ニ付テハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣參事會ノ裁決ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル市會又ハ市參事會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市長ハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フベシ

監督官廳ハ前二項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

第一項若ハ第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服アル市長、市會又ハ市參事會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項又ハ第二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九十條ノ二 市會又ハ市參事會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ市長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ市長ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル市會又ハ市參事會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ市長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請フベシ

市會又ハ市參事會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依リ左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他

ノ市ノ義務ニ屬スル費用

二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用

前三項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル市長、市會又ハ市參事會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第九十一條第三項中「其ノ議決スベキ事件ニ付府縣參事會ノ議決ヲ請フコトヲ得」ヲ「府縣知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得」ニ、同條第五項中「前四項」ヲ「前三項」ニ、「市參事會又ハ府縣參事會ノ決定」ヲ「市參事會ノ決定又ハ市長ノ處分」ニ、同條第六項中「第一項及前三項」ヲ「前四項」ニ改メ同條第二項ヲ削ル

第九十二條ノ二中「市參事會」ノ上ニ「市會及」ヲ加フ

第九十三條第一項中「法令」ヲ「從來法令又ハ將來法律勅令」ニ改ム

第九十八條第二項中「法令」ヲ「從來法令若ハ將來法律勅令」ニ改ム

第九十九條第一項中「市及區ノ出納其ノ他ノ會計事務並」ヲ「市及區ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌リ市收入役ノ命ヲ承ケ又ハ從來法令若ハ將來法律勅令ノ定ムル所ニ依リ」ニ改ム

第一百四條第一項及第二項中「名譽職市參與」ノ上ニ「名譽職市長」ヲ加ヘ同條第三項中「市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム」ヲ「市條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第一百五條中「市長」ヲ「有給市長」ニ、「市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム」ヲ「市條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第一百七條第一項ヲ左ノ如ク、同條第二項中「直接府縣稅」ヲ「府縣稅」ニ改ム

市稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 直接國稅及府縣稅ノ附加稅

二 地租、家屋稅及戶數割

三 特別稅

第一百九條ノ二 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ市稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開

始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ市稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第二百二十三條中「市稅及其ノ賦課徵收」ヲ「市稅ノ賦課徵收」ニ改ム

第二百四十六條第二項中「選舉人名簿又ハ」ヲ削ル

第二百六十五條 削除

第二百六十六條 削除

第六十七條 左ニ掲グル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クベシ但シ第一號、第四號、第六號及第十一號ニ掲グル事件ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

一 市條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 基本財産及特別基本財産ノ處分ニ關スルコト

三 第一百十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更シ又ハ廢止スルコト

四 使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト

五 均一ノ稅率ニ依ラズシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スルコト

六 特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト

七 第二百二十二條第一項、第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ市ノ一

部ニ費用ヲ負擔セシムルコト

八 第二百二十四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ市ノ一

部ニ對シ賦課ヲ爲スコト

九 第二百二十五條ノ準率ニ依ラズシテ夫役現品ヲ賦課スルコト但シ急迫

ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

十一 市債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ

之ヲ變更スルコト但シ第三百三十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラズ

第一百七十條第一項中「懲戒審査會」ノ議決ヲ經市長ニ付テハ勅裁ヲ經ルコト

ヲ要ス」ヲ「懲戒審査會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス」ニ改メ同條第四項但書ヲ

削リ同條第六項ヲ左ノ如ク改ム

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準

ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

附 則

本法中第一百七十條ノ改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

町村制中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

町村制中改正法律案

町村制中左ノ通改正ス

第十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

町村會議員中關員ヲ生ジタル場合ニ於テ第二十七條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者ト爲ラザリシ者アルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ノ適用ヲ受クル者ナク若ハ前項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍其ノ關員ガ議員定數ノ六分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキ又ハ町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フベシ

第十八條ノ三 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定シ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ直ニ之ヲ修正スベシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第一項ノ規定ニ依リ決定ヲ爲シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スベシ同項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキ亦同ジ

第十八條ノ四第三項乃至第五項ヲ左ノ如ク改ム

前條第二項又ハ第三項ノ場合ニ於テ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ修正スベシ

前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示

スベシ

投票分會ヲ設クル場合ニ於テ必要アルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スベシ

第十八條ノ五第三項中「異議申立ニ對スル町村會ノ決定」ヲ「異議ノ決定」ニ改ム

第四十三條中「町村長又ハ監督官廳」ヲ「關係行政廳」ニ改ム

第四十七條第一項中「議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ」ヲ「議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ニ付スベキ事件ヲ示シテ町村會招集ノ請求アルトキハ」ニ、同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

町村長ハ會期ヲ定メテ町村會ヲ招集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ町村長ハ更ニ期限ヲ定メ町村會ノ會期ヲ延長スルコトヲ得

第五十一條 法律勅令ニ依リ町村會ニ於テ行フ選舉ニ付テハ第二十二條、

第二十五條及第二十七條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定ス

町村會ハ議員中異議ナキトキハ前項ノ選舉ニ付指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

指名推選ノ法ヲ用フル場合ニ於テハ被指名者ヲ以テ當選者ト定ムベキヤ否ヲ會議ニ付シ議員全員ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

一ノ選舉ヲ以テ二人以上ヲ選舉スル場合ニ於テハ被指名者ヲ區分シテ前項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ズ

第五十三條ノ二 町村會議員ハ町村會ノ議決スベキ事件ニ付町村會ニ議案ヲ發スルコトヲ得但シ歲入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル發案ハ議員三人以上ヨリ文書ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條第二項ヲ左ノ如ク改ム

町村長ノ在職中ニ於テ行フ後任町村長ノ選舉ハ現任町村長ノ任期滿了ノ日前二十日以内又ハ現任町村長ノ退職ノ申立アリタル場合ニ於テ其ノ退職スベキ日前二十日以内ニ非ザレバ之ヲ行フコトヲ得ズ

第一項ノ選舉ニ於テ當選者定マリタルトキハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スベシ

町村長ニ當選シタル者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ其ノ當選ニ應ズルヤ否ヲ申立ツベシ其ノ期間内ニ當選ニ應ズル旨ノ申立ヲ爲サザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第二十九條第三項ノ規定ハ町村長ニ當選シタル者ニ之ヲ準用ス

助役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム町村長職ニ在ラザルトキハ第一項ノ例ニ依ル

第二項乃至第五項ノ規定ハ助役ニ之ヲ準用ス

第六十七條第三項中「第六十三條第二項及第四項」ヲ「第六十三條第二項乃至第六項及第九項」ニ改ム

第六十八條第二項中「町村會之ヲ定ム」ノ下ニ「此ノ場合ニ於テハ第六十三條第二項乃至第五項ノ規定ヲ準用ス」ヲ加フ

第六十九條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第六十三條第二項乃至第五項ノ規定ハ委員ニ之ヲ準用ス

第七十四條 町村會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ議決ニ付テハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣參事會ノ裁決ヲ請フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フベシ監督官廳ハ前二項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得

第一項若ハ第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第一項又ハ第二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十四條ノ二 町村會ノ議決明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スベシ但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ再議ニ付セズシテ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ爲シタル町村會ノ議決仍明ニ公益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請フベシ

町村會ノ議決收支ニ關シ執行スルコト能ハザルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニ依ル左ニ掲グル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付亦同ジ

一 法令ニ依リ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニ依リ命ズル費用其ノ他ノ町村ノ義務ニ屬スル費用

二 非常ノ災害ニ因ル應急又ハ復舊ノ施設ノ爲ニ要スル費用、傳染病豫防ノ爲ニ要スル費用其ノ他ノ緊急避クベカラザル費用

前三項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七十六條ノ二 町村會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニ依リ町村長ニ於テ專決處分スルコトヲ得

第七十七條第一項中「法令」ヲ「從來法令又ハ將來法律勅令」ニ改ム

第八十四條第三項中「町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム」ヲ「町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第八十五條中「町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム」ヲ「町村條例ヲ以テ之ヲ規定スベシ」ニ改ム

第九十七條第一項ヲ左ノ如ク、同條第二項中「直接府縣稅」ヲ「府縣稅」ニ改ム

町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 直接國稅及府縣稅ノ附加稅

二 地租、家屋稅及戶數割

三 特別稅

第九十九條ノ二 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ハ合併ニ因リ消滅シタル法人ニ對シ其ノ合併前ノ事實ニ付賦課セラルベキ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

相續人又ハ相續財團ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ被相續人ニ對シ其ノ相續開始前ノ事實ニ付賦課セラルベキ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百三條中「町村稅及其ノ賦課徵收」ヲ「町村稅ノ賦課徵收」ニ改ム

第二百二十六條第二項中「選舉人名簿又ハ」ヲ削ル

第二百四十五條 削除

第二百四十六條 削除

第四百十七條 左ニ掲グル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クベシ但シ第一號、

第四號、第六號及第十一號掲グル事件ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノハ其ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

一 町村條例ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

二 基本財産及特別基本財産並ニ林野ノ處分ニ關スルコト

三 第九十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更シ又ハ廢止スルコト

四 使用料ヲ新設シ又ハ變更スルコト

五 均一ノ稅率ニ依ラズシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スルコト

六 特別稅ヲ新設シ又ハ變更スルコト

七 第二百二條第一項、第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ町村ノ一部

ニ費用ヲ負擔セシムルコト

八 第四百四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部

ニ對シ賦課ヲ爲スコト

九 第一百五條ノ準率ニ依ラズシテ夫役現品ヲ賦課スルコト但シ急迫ノ場

合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スルコト

十一 町村債ヲ起シ並ニ起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又

ハ之ヲ變更スルコト但シ第一百十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラズ

第五百五十條第六項ヲ左ノ如ク改ム

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間北海道府縣、市町村其ノ他之ニ準

ズベキモノノ公職ニ就クコトヲ得ズ

附 則

本法中第九十七條ノ改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道會法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

(小字ハ衆議院ノ修正文)

北海道會法中改正法律案

北海道會法中左ノ通改正ス

第一條第二項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

北海道廳長官ハ北海道會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ分チテ數選舉區ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ於テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條第三號中「夫役現品ノ賦課徵收」ノ下ニ「並ニ北海道地方費ノ分賦」ヲ

加ヘ同條第一號ヲ第二號トシ以下順次繰下ゲ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

一 北海道條例及北海道規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

第十條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 北海道會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、府縣制第五十四條ノ規定ノ準用ニ依ル除斥ノ爲會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ北海道

廳長官ニ於テ北海道會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ北海道會ノ權

限ニ屬スル事件ヲ北海道會ニ代ハリテ議決スルコト

附 則

本法中第八條ノ北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道會地方費法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

北海道地方費法中改正法律案

北海道地方費法中左ノ通改正ス

第三條中「地租ヲ賦課セサル」ヲ削ル

第八條ノ三中「第七十五條」ノ上ニ「第三條ノ二、ヲ加ヘ」第百三條第二項、

ヲ「第百三條第二項第三項、第百十一條第二項、ニ、」第百三十條ヲ「第百

二十九條ニ改ム

附 則

本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 府縣制、市制、町村制等地方制度ニ關スル諸法律ノ改正ヲ致シマシテ、自治權ノ擴充ヲ圖リ、地方自治體ノ堅實ナル發達ヲ遂ゲシメルコトヲ期シマシテ、茲ニ改正ノ諸案ヲ提出ヲ致シタ次第デアリマス、其根本精神ハ地方分權、即チ自治權ノ擴充ト云フコトニ存スルデアリマスガ、改正ノ内容ハ各種ノ方面ニ互ツテ居リマシテ、或ハ積極的ニ自治權ノ範圍ヲ擴張セムトスルモアリ、或ハ消極的ニ自治權ノ確立ヲ保障セムトスルモノモアリ、其他自治機關ノ構成方法ヲ整齊シ、事務處理ノ方法ヲ整備シ、之ニ依ツテ自治活動ノ圓滿ヲ圖ラムトスルニアリマス、頗ル廣汎ニ互ルノデアリマスガ、就中其主要ナル數項ニ付テ略說ヲ致シテ見マスレバ、第一ハ積極的ニ自治權ノ範圍ヲ擴張セムトスル改正デアリマシテ、此點ニ關シ第一ニ舉グベキモノハ、府縣會議員、市町村會議員、府縣參事會、及市參事會員ニ對シマシテ、必要適切ナル限度ニ於テ議案ノ發案權ヲ認メトスルノデアリマス、即チ地方議會ハ地方自治體ノ意思機關デアリマスルカラ、現行自治組織ノ本質ニ鑑ミマシテ、特ニ理事機關ヲシテ專ラ事ニ當ラシムルコトヲ必要トスルモノ、以外ハ、地方自治體ノ意思構成ニ付キ、議員ニ對シ自ラ積極的ニ發案シ得ル權能ヲ附與スルコトヲ以テ、最モ能ク地方精神ニ合致スルモノナリト認ムルノデアリマス、第二ニ舉グベキモノハ府縣自治體ニ對シ、新ニ條例制定權ヲ付與セムトスルコトデアリマス、府縣ガ自治行政ヲ運營スルニ當リマシテ、其事務ノ處理ニ必要ナル範圍内ニ於テ、自治法規ヲ制定シ得ル權能ヲ有スルノ必要アルコトハ、固ヨリ謂フヲ俟タナイ所デアリマシテ既ニ市町村ニ對シマシテハ、市町村條例制定ノ權能ヲ付與セルニモ拘ラズ、今尙ホ府縣ニ對シテ此種ノ權能ヲ認メナイノハ、不必要ニ府縣ノ自治權ヲ制限スルモノデアルト言ハネバナリマセシ今同府縣ニ對シ新ニ府縣ノ自治事務ニ關

シ、一般的ニ府縣條例制定ノ權能ヲ付與セムトスルモノデアリマス、其他地方議會ガ地方自治體ノ公益ニ關スル意見書ヲ提出シ得ル範圍ヲ擴張シ、又府縣會議員ニ對シテモ、府縣會招集請求權ヲ認メトスルガ如キ、何レモ積極的ニ自治權ヲ擴張スルコトヲ目的トスル改正デアリマス、第二ハ地方自治體ニ對シマシテ、國家ノ行政監督ヲ緩和シマシテ、自治權ノ確立ヲ保障セムトスル改正デアリマス、此點ニ關シテ其第一ニ舉グベキハ、所謂原案執行權ニ對シ適當ナル制限ヲ加ヘムトスルコトデアリマス、惟フニ地方議會ノ不當ナル意思決定ニ對シ、適切ナル監督權ノ發動ヲ必要トスルコトハ、今更申ス迄モナイノデアリマスルガ、其監督ガ嚴ニ失スルニ於テハ、却テ自治ノ圓滿ナル發達ヲ拘束スルニ至ルノ弊ヲ免レマセシ、殊ニ原案執行權ノ行使ニ付キマシテハ、從來動モスレバ論議ノ存スル所ナルノミナラズ、其之ヲ認ムル範圍ガ廣キニ失スルガ爲ニ、地方自治體ノ意思決定ガ不必要ニ抑制ヲ受クルトノ譏ガアリマシタノデ、此點ニ付キマシテハ特ニ慎重ナル注意ヲ拂ヒ、地方議會ノ意思決定ガ著シク自治ノ圓滿ナル運行ヲ阻害スル虞レアル如キ場合ニ於テノミ、此種ノ監督權ヲ保留スルノ趣旨ヲ以テ法規ノ改正ヲ行ハムトスルノデアリマス、第二ハ地方自治事務ニ關スル許可權ノ歸屬及許可ヲ要スル事項ノ内容ニ對シマシテ、重要ナル改正ヲ行ハムトスルコトデアリマス、即チ市町村ニ付キマシテ、許可ノ權限ハ原則トシテ之ヲ府縣知事ニ屬セシムルコトトシ、從來各主務大臣ノ許可ヲ要シタル事項ニシテ、特ニ主務大臣ノ監督權ヲ保留スル必要アルモノ以外ハ總テ之ヲ府縣知事ノ權限ニ移スノ方針ヲ以テ規定ノ改正ヲ行フコトト致シマシタ、又府縣ニ關シテモ、從來內務大臣ノ許可ヲ要シタル事項中、特ニ必要ト認ムルモノ以外ハ之ヲ府縣ノ自治ニ一任スルノ方針ヲ以テ、規定ノ改正ヲ行ハムトスルノデアリマス、其他府縣行政ニ付キマシテ、府縣知事ノ府縣會停會權、內務大臣ノ府縣豫算削減權ヲ廢止セムトスルガ如キ、何レモ自治權ノ確立ヲ保障スルコトヲ目的トスル改正デアリマス、第三ハ自治機關ノ構成方法ノ整齊及行政事務ノ整理ニ依リ、自治ノ圓滿ナル運營ヲ期セムトスルモノデアリマスルガ、此關係ニ於ケル改正ハ、諸般ノ方面ニ涉ツテ居リマスルノデ、煩ヲ避ケ特ニ其主要ナルモノ一二ヲ舉グルニ止メテ置キタイト思ヒマス、而シテ其第一ハ市參事會ノ構成方法ヲ變更イタシマシテ、市參事會ハ議長ノ外、市會ニ於テ互選シタル名譽職參事會員ノミヲ以テ之ヲ組織セシメ、其構成ニ理事機關ヲ加ヘザルコトトシ、

以テ市參事會ノ代議機關タル特質ヲ充實セシメムトスルコトデアリマス、第二ハ市町村吏員ニ對スル國政事務等ノ委任ハ、將來ハ必ズ法律勅令ヲ以テ規定セネバナラスコトシタノデアリマス、蓋シ是等ノ委任事務ニ要スル經費ハ、之ヲ市町村自治體ノ負擔ニ屬セシムル爲ニ、現行法ニ於ケルガ如キ省令以下ノ命令ヲ以テ、自由ニ市町村吏員ニ對シテ國政事務等ヲ委任シ、市町村ヲシテ其經費ヲ負擔セシムルコト爲スニ於テハ、爲ニ地方負擔ヲ増加シ、自治ノ堅實ナル發達ヲ阻害スルノ虞アルニ依ルノデアリマス、其他市長ヲ名譽職トシ得ルノ途ヲ開キ、又市町村長等ノ選舉其他ニ關スル規定ヲ整備スルノ外、地方自治體ニ於ケル事務處理ノ方法ニ付テ必要ナル種々ノ改正ヲ行ハントスルノデアリマス、以上申述ベマシタ所ハ今回政府ニ於キマシテ提案ヲ致シマシタル地方制度改正ニ關スル諸法律案ノ要旨デアリマス、衆議院ニ於キマシテ是等諸案ニ對シテ府縣會議員及北海道會議員選舉ニ於ケル選舉區制ニ關スル規定竝ニ市町村會議員ノ補缺選舉ノ執行ニ關スル規定ノ二點ニ付テ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、大要以上ノ通りデゴザイマスカラ何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切ニ御願ヒ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

府縣制中改正法律案外四件特別委員

侯爵 德川 賴貞君 伯爵 松本 宗隆君 子爵 野村 益三君
男爵 黑田 長和君 川崎 卓吉君 湯地 幸平君
石川 三郎君 橋本萬右衛門君 山上 岩二君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十三、昭和三年勅令第二百二十九號、承諾ヲ求メル件、衆議院送付、會議

昭和三年勅令第二百二十九號

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月五日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和三年勅令第二百二十九號
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ治安維持法中改正ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム
御名 御璽

昭和三年六月二十九日

內閣總理大臣兼	男爵 田中義一
外務大臣	小川平吉
鐵道大臣	岡田啓介
海軍大臣	白川義則
陸軍大臣	中橋德五郎
商工大臣	三土忠造
大藏大臣	山本悌二郎
農林大臣	望月圭介
內務大臣	原嘉道
司法大臣	久原房之助
逓信大臣	勝田主計
文部大臣	

勅令第二百二十九號

治安維持法中左ノ通改正ス

第一條 國體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者又ハ結社ノ役員其ノ他指導者タル任務ニ從事シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ處シ情ヲ知リテ結社ニ加入シタル者又ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル者、結社ニ加入シタル者又ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
前二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二條中「前條第一項」ヲ「前條第一項又ハ第二項」ニ改ム

第三條及第四條中「第一條第一項」ヲ「第一條第一項又ハ第二項」ニ改ム

第五條中「第一條第一項及」ヲ「第一條第一項第二項又ハ」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 昭和三年勅令第二百二十九號ノ承諾ヲ求メマスル理由ヲ御説明申上ゲマス、抑モ大日本帝國ハ萬世一系ノ 天皇之ヲ統治セラレマスルノガ、萬代不易ノ國體デアリマス、此國體ノ變革ヲ企テマスルノハ、即チ我國家ヲ滅亡セシメントスルニ外ナライノデアリマス、是ハ帝國トシテ最モ怖ルベキ所ノモノデアリマス、現行刑法が大逆行為及叛逆行為ニ對シマシテ、殊ニ嚴刑ヲ科シテ居リマスノモ是ガ爲デアリマス、併ナガラ國體變革ノ計畫ハ、單リ此種直接ノ暴力の行為ヲ手段トスルモノノミニ止マラナイノデアリマス、秘密結社ノ組織ニ依リ、國民ノ思想ヲ腐蝕惡化セシメ、一兵ニ動ラザルモ尙ホ國體ノ瓦解ヲ惹起スベキ手段ニ依ルモノモ出來テ參ッタノデアリマス、是ハ思想的內亂罪トモ申スベキモノデアリマシテ、其恐ルベキコトハ決シテ前者ニ讓ラナイノデアリマス、而シテ此種ノ結社團體ハ國際的革命ヲ目的ト致シマスル國外團體ト氣脈ヲ通ジマシテ、其願使ニ甘シ、金匱無缺ノ我國體ノ崩壊ヲ畫策スルノデアリマス、斯カル團體ノ行動ハ實ニ怖ルベキ、又惡ムベキ賣國的ノモノデアリマシテ、其危險ナルコトハ刑法所定ノ外患罪ニ讓ル所ハアリマセズ、是ハ即チ思想的外患罪ト申シテモ宜シイノデアリマス、然ルニ我刑法が大逆罪、內亂罪及外患罪ニ對シテ極刑ヲ科シテ居リマスルニ拘リマセズ、治安維持法ガ國體變革ヲ目的トスル結社ニ對シマシテハ僅ニ十年以下ノ有期刑ヲ以テシテ居リマシタルハ權衡ヲ失スルノ甚シキモノデアリマシテ、斯ノ如クデハ到底我ガ帝國ノ治安維持ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、殊ニ未ダ結社ニ加入イタシマセヌデモ、結社ノ目的ヲ知リマシテ、是ガ遂行ノ行為ヲナシマスル者モ、亦加入者ト等シク處罰イタシマセヌケレバ、到底斯カル不逞ノ企畫ヲ防止スルコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、是ガ爲ニ政府ハ治安維持法第一條ノ改正ト、之ニ牽聯スル條項ノ改正ノ必要ヲ認メマシテ、第五十五議會ニ其改正案ヲ提出イタシタルデアリマス、而シテ第五十五議會ニ於キマシテハ、政府ガ該法律案ノ通過ヲ切望イタシマシタルニモ拘リマセズ、遂ニ衆議院ニ於テ審議未了ニ終リマシタ、爾來政府ハ我ガ國體ノ變革ヲ目的トシ

テ居ル秘密結社デアリマシテ、第三「インターナショナル」日本支部デアリマスル、日本共產黨員中未ダ檢舉セラレザル者等ノ行動如何ヲ注視シテ居リマシタ所、彼等ハ多數黨員ノ檢舉後デアリマシタルニモ拘リマセズ、依然トシテ不逞ノ企畫ヲ遂行セムトシ、黨員以外ノ同主義者ト相呼應シテ、益々國民中ニ詭激ノ思想ヲ普及シ、且ツ其企畫ヲ實行セシメムトスルノ狀況顯然タルモノアルヲ認メマシタ、加フルニ第三「インターナショナル」ナルモノハ、日本共產黨員ノ大檢舉アリタルヲ見マスルヤ「モスコ」ニ於ケル東洋勤勞者共產大學ノ日本留學生ヲ續々歸朝セシメ、黨ノ組織、整理、擴大ニ努メシムルトノ信ズベキ情報ガアッタノデアリマス、斯ノ如ク現ニ我ガ國家ノ基礎ヲ破壞スル企圖ヲ實現セムトスル者ガ存在シ、著々其歩ヲ進メテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、一日モ速ニ適當ナル刑罰法規ヲ定メ、廣ク國民ヲシテ事態ノ重大ナルヲ知ラシメ、苟モ彼等不逞ノ徒ノ煽動、誘惑ニ陥ルガ如キコトナカラシメマスルト共ニ、彼等不逞ノ徒ニ對シマシテモ、亦一大警戒ヲ與ヘ、反省自覺スル所アラシムルニアラザレバ、國家ノ治安ハ維持出來ナイト考ヘルノデアリマス、特ニ昨年ノ下半年期ハ我ガ帝國ガ最モ嚴肅ニシテ、且ツ最モ靜謐ナル秩序ヲ要スル時機デアッタト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマシテ、有ユル手段ニ依リマシテ、國家ノ治安ヲ維持スルヲ相當トシタルデアリマス、而シテ當時帝國議會ハ閉會中デアリマシタカラ、政府ハ憲法第八條ニ依リ公共ノ安全ヲ保持スル爲メ緊急ノ必要アル場合ナリト認メマシテ、法律ニ代ルベキ勅令ノ御裁可ヲ得テ、昭和三年六月二十九日其公布ヲ見タノデアリマス、是ガ即チ茲ニ議題トシテ承諾ヲ求メル勅令デアリマスルカラ、何卒御審議ノ上承諾ヲ與ヘラレンコトヲ希望イタシマス

○議長(公館徳川家達君) 是ヨリ通告ニ依リマシテ、松村君ニ質疑ノ發言ヲ許シマス

〔松村義一君演壇ニ登ル〕

○松村義一君 此問題ニ付キマシテ總理大臣、司法大臣、內務大臣、此御三方ニ御尋ラ致シタイノデゴザイマス、先ヅ總理大臣ニ對スル質疑ヨリ始メタイト考ヘマス、緊急勅令ノ特權ハ憲法ノ許ス所デアッテ、又憲法ノ最モ濫用ヲ戒ムル所デアリマス、若シ政府ニシテ此特權ニ託シ、容易ニ議會ノ公議ヲ回避スルノ方便トナシマスナラバ、憲法ノ條規ハ臣民ノ爲ニ保障ヲナスコトハ出來マセヌ、故ニ政府ガ此命令制定ノ手續ヲ執ルニ當リマシテハ、最モ

慎重ナル態度ヲ以テ考究セナケレバナラヌコトハ論ヲ俟タヌノデゴザイマス、政府ハ果シテ此緊急勅令ノ裁可ヲ奏請スルニ當ツテ、何ニ依ツテ緊急ノ必要ナルコトヲ認定セラレタノデアリマス、原司法大臣ノ名義ヲ以テ、政府ガ都下新聞紙ヲ通ジテ發表セラレタル聲明ニ依リマスレバ、共產黨ノ一味ハ過般ノ檢舉ニ依ツテ、其跡ヲ絶ツニ至ラナイ、事件ノ中心人物中未ダ縛ニ就カヌ者サヘアル、而シテ是等ノモノハ各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケテ居ルコトハ確實デアルト言フテ居ラレマス、其例證トシテ第三師團出發ノ際ニ、帝國ノ軍隊ヲ攪亂セムトスル不敵ノ行動ヲ敢テスル者ヲ出スニ至ッタト云フコトヲ舉ゲテ居ラル、ノデアリマス、又或ハ露西亞ノ共產黨大學ニ學ビテ歸朝シタル者ノアルコトヲ、其理由ノ一ツニ加ヘテ居ラル、ノデアリマス、併ナガラ不穩ノ行動ヲナシ、之ヲ續ケテ居ルコトハ、此時ニ始マッタモノデハナクシテ、從來ヨリアルコトデアリマス、大正十二年ニ治安警察法違反トシテ、秘密結社共產黨ノ檢舉ヲ見マシテ、主モナル者二十數名ガ縛ニ就イタノデアリマスガ、其前ニ於テモ其後ニ於テモ彼等ハ絶エズ内々不穩ノ行動ヲ續ケテ居ッタノデアリマス、ソレデアリマスカラ昨年三月十五日更ニ再ビ一齊檢舉ヲ爲サナケレバナラナカッタノデアリマス、不穩行動ノ例證トシテ舉ゲテ居ラルル第三師團出發ノ際ニ於ケル不敵ノ行動ト云ハレマスノハ、軍隊ノ士氣ヲ攪亂セムトスル宣傳文書配布ノコトデアリマセウガ、併シ斯ノ如キ事例モ從來度々アッタコトデアリマス、又露西亞ノ共產黨大學ニ學ビマシタ者ガアル、又學ビタル者ガ帝國ニ歸還スル者モ度々アッタノデアリマシテ、緊急ノ必要トシテ説明シテ居ラレル具體的事實ハ、從來ヨリ度々アリ又引續キアッタコトデアリマシテ、私ハ是等ノ事例ガ何等緊急ノ必要ヲ物語ルモノデナイト云フコトヲ斷言イタシマス、若シ事件ノ中心人物ガ尙ホ縛ニ就カヌコトヲ聲言セラレルコトハ、檢舉ノ不徹底ヲ示ス外、何等ノ役ニモ立チマセヌ、是等ノ不穩計畫ナルモノガ我が帝國ニ存在スルト云フコトハ誠ニ遺憾千萬ナ事柄デアリマス、故ニ從來是ガ禁止規定ガ無カッタモノト致シマスレバ、速ニ此規定ヲ設クル必要ガアルデアリマセウ、併ナガラ既ニ治安維持法ナルモノガ存在シテ、國體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ、又ハ情ヲ知ツテ之ニ加入シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處スルコトニナツテ居リマシテ、不穩行動ハ嚴ニ之ヲ禁止スルコトニナツテ居ルノデアリマス、刑罰ハ重キガ故ニ威力ガアルノデアリマセヌ、檢舉ノ周到嚴正ガ第一デアリマス、檢舉ノ足ラザ

ル所ヲ補ハムガ爲ニ嚴刑ヲ以テ之ニ臨ムト云フコトハ、斷ジテ賢明ナル刑事政策デハナイノデアリマス、殊ニ十年ノ懲役ハ決シテ輕キモノデアリマセヌ、之ニ依ツテ嚴正ニ警察ハ取締ヲ厲行シ、檢舉ノ周到ヲ期スルナラバ、次ノ通常議會ヲ待テヌト云フ筈ハ無イノデアリマス、政府ガ緊急勅令ノ制定ヲ思ヒ付カレタノハ、昨年ノ特別議會直後カラデアアルヤウデアリマス、然ルニ政府與黨ノ反對、其他ノ事情ニ依ツテ遂ニ決セラレズ、遂ニ空シク一箇月餘ヲ經過シタノデアリマス、而シテ當時、東京府會議員ノ選舉ガ行ハレタノデアリマスガ、若シ此勅令ガ其前ニ發布ノ手續ヲ執ラレマス、政府與黨ハ所謂優詭問題ニテ人氣ノ惡イ所ヲ一層惡クスルカラ、與黨ノ反對ヲ緩和スル所ノ策トシテ、六月十日ノ選舉、十一日ガ開票デアリマスカラ、翌十二日ニ閣議決定ト相成リマシタコトハ、殆ド公知ノ事實デアリマス、與黨ノ不利益ヲ心配シテ時日ヲ遷延スルコトガ出來マスレバ、何ニモ緊急ノ必要ガ無イデアリマセヌカ、又斯ノ如キコトハ私黨ノ爲ニ公事ヲ枉ゲルモノデアッテ、政治家ノ最モ恥トシナケレバナラヌ所デアリマス、茲ニ於テ私が第一ニ總理大臣ニ御尋ネ致シタイノハ、政府ハ如何ナル理由ニ依ツテ緊急ノ必要ナルコトヲ認メラレタカト云フコトデアリマス、先刻司法大臣ヨリ其御説明ヲ承ッタノデアリマスガ、私ハ承服スルコトガ出來マセヌ、サウデアリマスカラ、更ニ總理大臣ヨリ詳細御説明ヲ伺ヒタイノデアリマス、昨年特別議會終了後、政府ハ特別議會ニ提出シタル治安維持法改正法律案ト同様ノ内容ヲ以テ、緊急勅令ヲ發布スルノ考ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、新聞紙ニ依ツテ宣傳セラレマスルヤ、世論ハ舉ツテ其非立憲ナルコトニ反對ヲシタノデアリマス、中ニハ如何ニ田中内閣ト雖モ斯ノ如キ暴舉ハ爲サヌデアラウ、斯様ニ信ジマシテ、此宣傳ヲ信用シナカッタ者スラ少クナカッタノデアリマス、新聞紙ハ固ヨリ輿論ヲ背景ト致シマシテ其非ヲ攻撃シタノデアリマスガ、各政黨モ與黨タル政友會及實業同志會ヲ除キマシテハ、全部反對ヲ聲明イタシタノデアリマス、政府與黨ノ人達モ個人トシテ反對セラレタ者ハ頗ル多カッタト申シテ宜イノデアリマス、學者モ反對シテ居ラレ、政府部内ノ政務官ニモ贊意ヲ表スル者ハ少カッタヤウデアリマス、事務官ニ至リマシテハ司法省ニ於テモ内務省ニ於テモ法制局ニ於テモ、一人ノ例外ナク強硬ニ反對セラレタノデアリマス、斯ノ如ク緊急勅令ノ發布ニハ輿論ノ大ナル反對ガアリ、又識者ノ反對ガ強カッタノデアリマス、而シテ先刻申述べマシタル原司法大臣ノ名義ヲ以テ發表セラレマ

シタ政府ノ聲明ニ依リマスレバ、治安維持法ガ之ニ對シ僅ニ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ヲ科スルニ止メタノハ事態ノ重大ナルニ照シ科刑甚ダ輕キニ失シ、刑事法制定ノ目的ニ副ハヌモノタルヲ免レヌ、斯ノ如キ科刑ヲ以テシテハ到底斯カル重大ナル事態ニ對シ、一般的警戒ノ效ヲ奏シ、犯罪ノ發生ヲ豫防シ、若クハ懲罰ノ目的ヲ達シ得ベキデナイコトハ疑ヲ容レヌト言フテ居ラレマス、又只今モ同様ノ御説明ガアツタウデアリマス、即チ治安維持法所定ノ刑罰ハ根本的ニ性質上輕イノデアアル、言ヒ換フレバ、治安維持法ナルモノハ此點ニ關スル限り間違ッタ法律デアルト言ッテ居ラレルノデアリマス、而シテハ學者ノ議論デアアリマセヌ、責任アル政府ガ公然言ッテ居ラレルノデアリマス、抑、治安維持法ハ大正十四年ノ議會ニ於キマシテ、時ノ政府ヨリ提出セラレ、貴衆兩院ニ於テ可決セラレ、同年四月公布セラレタル法律デアリマス、而シテ衆議院ニ於テモ當貴族院ニ於キマシテモ、事ノ性質上、重大ナル法律案デアリマスカラ特ニ慎重ニ審議セラレ、大多數ヲ以テ可決セラレタモノデアリマス、斯ノ如ク貴衆兩院ガ慎重考究シテ成立セシメタルモノヲ、僅三年ノ後ニ、ソレハ根本的ニ間違ッタ居ルト言ハレマスコトハ、如何ニモ議會ヲ踏付ケタモノデアリ、議會ノ意思ヲ輕視シタルモノト申サナケレバナリマセヌ、斯ク政府ノ意思ト以前ニ發表シタル議會ノ意思ト相違スル場合ニ於キマシテハ、政府ハ議會ニ於テ能ク其所信ヲ披瀝シテ議會ノ諒解ヲ得、其反省ヲ促スコトガ必要デナケレバナリマセヌ、殊ニ先程申上ゲマシタル通り、緊急勅令ノ發布ハ輿論舉ッテ反對デアリ、學者モ役人モ皆反對デアルト云フ場合ニ於キマシテハ、議會ヲ召集シテ其議ニ付スルコトガ立憲政治家ノ態度デナケレバナリマセヌ、昨年五月、三四ノ閣僚ガ治安維持法ノ刑罰ヲ重クセナケレバナラス、死刑ヲ以テ臨マナケレバナラスト云フコトヲ強硬ニ主張セラレタト致シマシテモ、輿論ノ支持ニ依ッテ初メテ存在シ得ル政黨ノ首領タル田中總理大臣トシテハ、少クトモ成ルベク速ニ臨時議會ヲ召集シテ、其議ニ付スルト云フ態度ヲ執ラル、コトガ適切デハナカッタデアリマセウカ、此點ヲ第二ニ總理大臣ニ御尋ネ致シタイノデアリマス、此質疑ニ對シマシテハ或ハ憲法第八條ト憲法第七十條トハ違フノデアアル、憲法第八條ノ要件ハ議會閉會ノ場合ニ於テ緊急ノ必要ガアレバソレデ宜イノデアアル、第七十條ノ如ク内外ノ情況ニ因リ帝國議會ヲ召集スルコト能ハザルト云フガ如キ要件ハ不必要デアルト説明セラレルカモ知レマセヌ、併シ其解釋ノ當否ハ別ト致シマシテ、私ハ法律

上ノ解釋ヲ御尋ネスルノデハナイノデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テハ斯ノ如ク爲サナケレバナラスト云フ、立憲政治家ノ態度ヲ伺フノデアリマス、又緊急ニシテ議會召集ノ違ガナカッタト申サル、カモ知レマセヌガ、緊急勅令ノ發布セラレマシタノハ六月二十九日デアッテ、特別議會閉會後殆ド二箇月ヲ經過シテ居ルノデアリマス、殊ニ司法大臣ハ此勅令ノ必要ナル理由トシテ昨年下半年ハ特別ニ我が帝國ノ靜謐ヲ要スル時機ト云フコトヲ言フテ居ラル、ノデアリマスルガ、是ハ固ヨリ御大典ニ關シテノコトデゴザイマセウ、ソレナラバマダ餘裕ノアルコトデアリマス、一方ニ於テ速ニ議會召集ノ手續ヲ執リ、更ニ一方ニ於テ共產黨事件ノ檢舉ヲ周到ニシ、且ツ將來ニ向ッテハ恐ルベキ計畫ニ對シテ嚴密ナル警察取締ヲ厲行シテ、彼等共產黨ノ殘黨ヲシテ活動ノ餘地ナカラシムルコトニ全力ヲ傾倒セラレマシタナラバ、此勅令ノ内容ヲ議會ノ議ニ付スルコトガ出來タデアラウト考ヘラレマス、尙ホ原司法大臣ガ昨年十一月ハ御大典ノ盛儀ガ行ハレルカラ、下半年ニ於テハ帝國ハ特別ニ靜謐ヲ保持スル必要ガアルト云フ意味ノコトヲ申サレタコトニ付キマシテハ、私モ全然御同感デゴザイマス、何人モ之ニ對シテ異議ヲ挾ム者ハアリマスマイ、從テ昨年下半年ニ於キマシテハ我が帝國ノ靜謐ヲ保持スル爲ニ官民舉ッテ努力スルコトハ固ヨリ當然デアリマス、併ナガラ御大典ニ關シ靜謐ヲ保持スル爲ニ一部ノ國民ニ對シテ之ヲ死刑ニ處スルコト云フ規定ヲ、立法ノ手續ニ依ラズ、如何ニモ狼狽シタル態度ヲ以テ緊急勅令ニ依ッテ規定スルコトハ、却テ 陛下ノ御懿德ニ悖ルモノデアリマスマイカ、共產黨員ト雖モ 陛下ノ赤子デアリマス、陛下ノ赤子ヲ死刑ニ處スルコトヲ以テ御大典ノ取締ニ利用スルコトハ、御慈愛ニ富マセラル、大御心ニ副フ所以デアリマス、此點ヲ第三ニ總理大臣ニ御尋ヲ致シマス、次ニ原司法大臣ニ御尋ヲ致シタイト考ヘマス、政府ハ治安維持法改正法律案ヲ昨年ノ特別議會ニ於テ、四月二十七日ニ衆議院ニ提出セラレタノデアリマスガ、原司法大臣ハ是ガ成立ニ對シ餘リ努力ヲシテ居ラレヌノデアリマス、政府トシテハ停會ニ續ケマシテ、此法案ノ通過ヲ阻碍シタルノ結果ヲ作ッテ居ルノデアリマス、原司法大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、是等共產黨ノ一派ハ各種ノ恐ルベキ行動ヲ續ケテ居ルコトガ確實デアルト言ッテ居ラレマスガ、緊急勅令案ノ裁可ヲ奏請スルニ當ッテ聲明セラレタル所ニ依リマスルト、是等ノ共產黨ノ一派ハ依然、露國國際共產黨ノ指揮ヲ奉ジ、我が國體ノ變革ナル賣國の大罪ノ遂行ヲ繼續スルコトハ容易ニ

推知シ得ベキ所デアッタガト云フ文句ガ其前ニ加ハツテ居ルノデアリマス、犯罪ヲ檢舉シテ、縦令ソレガ一齊檢舉デアリマシテモ、一度ノ檢舉ニ依ツテ其跡ヲ全然絶タシムルコトハ出来ナイコトデアリマス、殊ニ思想的犯罪ニ於キマシテハ一層左様デアアルノデアリマスカラ、過般ノ共產黨ノ檢舉後モ彼等ノ一味ハ不穩ノ行動ヲ繼續スルコトハ容易ニ推知シ得ベキ所デアッタト司法大臣ガ聲明セラレマシタルコトハ誠ニ當然デアリマス、併ナガラ司法大臣ハ特別議會開會以前カラスノ如キ不穩計畫遂行ノ繼續ヲ推知シテ居ラレマシタナラバ、何故ニ特別議會ニ際シテ此改正法案ノ通過ヲ盡力セラレナカッタノデアリマスカ、場合ニ依ツテハ相當會期ノ延長ヲモ閣議ニ諮ラレナカッタノデアリマスカ、若シ司法大臣ガ法案ノ通過ニ努力ヲシ、會期ノ延長ヲモ主張サレマシテ、ソレガ閣議ニ依ツテ容レラレマシタナラバ、議會ハ或ハ此法案ヲ成立セシメタカモ知レマセヌ、又修正可決シタカモ知レマセヌ、又否決シタカモ知レマセヌガ、免ニ角議會ハ此法案ニ對シ明確ニ意思ヲ發表スルコトガ出来タデアリマセウ、左様イタシマスレバ、政府ハ此緊急勅令案ヲ奏請スルノ必要ガ無クナル、或ハ假令、法律案ガ修正又ハ否決サレマシタ場合ニ於キマシテモ、既ニ議會カ明瞭ニ意思ヲ發表シテ居リマス以上ハ、此緊急勅令案ヲ奏請スルコトハ絕對出来ナカッタコトデアアルノデアリマス、茲ニ於テ原司法大臣ニ御尋ヲ致シタイノハ、原司法大臣ハ特別議會ニ於テ法案ノ通過ノ爲メ努力ノ足りナカッタコト、又會期延長ヲ閣議ニ諮ラレナカッタコトハ大ナル怠慢デアアリマセヌカ、此怠慢ノ結果、政府ハ遂ニ緊急勅令ヲ出スニ至ッタノデアアリマセヌカト云フコトデアリマス、次ニ内容ニ付テ御尋ヲ致シマス、治安維持法ニ於テハ國體ヲ變革スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シタル場合ニ於キマシテハ、之ヲ組織シタル者及結社ノ役員、其他指導者タル任務ニ從事シタル者ハ總テ死刑デアアルカ、無期徒刑デアアルカ、少クトモ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレルノデアリマス、又情ヲ知ツテ結社ニ加入シタル者及結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行為ヲ爲シタル者ハ二年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレルノデアリマス、而シテ之ヲ内亂罪ニ比較イタシマスルニ、内亂罪ノ方ガ遙ニ輕イノデアリマス、即チ内亂罪ニ於キマシテハ、死刑ヲ以テ問議セラレルノハ首魁ダケデアリマシテ、謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者、即チ言ヒ換ヘマスレバ、首魁ヲ除クノ外ノ幹部トモ稱スベキ者ハ無期又ハ三年以上ノ禁錮ニ處セラレルダケデアリマス、又幹部以外ノ諸般ノ職務

ニ從事シタル者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處セラレルニ過ギナイノデアリマス、之ヲ更ニ能ク比較イタシテ見マス、國體ノ變革ヲ目的トシテ多數ノ者ガ集合シテ暴行脅迫ヲ爲シタル場合ニ於テハ首魁ダケガ死刑ヲ以テ問議セラレ、其他ノ幹部ハ無期又ハ三年以上ノ禁錮デアリマスガ、同一ノ目的ノ結社ヲ組織シタルダケノ場合ニ於キマシテハ、首魁ハ素ヨリ之ヲ組織シタル者、其ノ外幹部全部ガ死刑、無期又ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレルノデアリマス、又内亂罪ノ場合ニ於キマシテ最モ輕キ附和隨行者等ハ別ト致シマシテモ、幹部以外ノ諸般ノ職務ニ從事シタル者サヘ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處セラレルニ過ギナイノデアリマスルノニ、同一目的ノ結社ノ場合ニ於キマシテハ之ニ加入シタル者全部、加入シナクテモ結社ノ目的ヲ遂行スル爲ニスル行為ヲ爲シタル者全部ニ對シテ重ク二年以上十五年以下ノ懲役又ハ禁錮ヲ以テ論ジマスルコトハ、如何ニモ彼此比較シテ治安維持法ノ方ガ刑法内亂罪ノ規定ヨリ遙ニ重イト言ハナケレバナリマセヌ、司法大臣ハ治安維持法所定ノ結社ヲ思想的内亂罪ト言ハレマシテ、之ヲ内亂罪ニ準ヘテ居ラル、ノデアリマスルガ、其準ヘテ居ラル、内亂罪ヨリモ治安維持法所定ノ結社ノ方ガ重ク處斷ガセラレルト云フコトハ矛盾デアリマス、殊ニ治安維持法所定ノ行為ハ結社組織並ニ結社加入デアリマス、内亂罪ノ行為ハ暴行脅迫デアリマス、同一目的ヲ以テスル場合ニ於キマシテ、結社ヲ組織スル、又之ニ加入スルト云フコトダケヨリモ、暴行脅迫ノ方ガ安寧ヲ害シ、治安ヲ紊ルコトノ多イコトハ申スマデモナイノデアリマス、故ニ冷靜ニ考ヘマスナラバ、治安維持法ノ刑罰ヲ内亂罪ヨリモ輕クスルト云フコトガ適當デナケレバナリマセヌ、ソレガ反對ニ治安維持法ノ方ガ遙ニ重ク相成ツテ居ルト云フコトハ刑ノ制定ガ甚シク公正ヲ缺クモノデアリマス、治安維持法第二條以下ハ其内容ノ改正ハアリマセヌ、從テ政府ハ之ヲ適當ナルモノトシテ支持シテ居ラル、モト考ヘナケレバナリマセヌガ、其第三條ト第四條トヲ比較シテ見マス、結社行為ヨリモ暴行脅迫等ノ行為ヲ重ク見テ居ルノデアリマス、即チ三條四條何レモ煽動ヲ處罰シテ居ルノデアリマスガ、第三條ニ於キマシテハ國體ノ變革又ハ私有財産制度ノ否認ノ實行ヲ宣傳スル行為ヲ規定シテ居リマシテ、第四條ニ於キマシテハ、此同一目的ヲ以テ暴行脅迫等ヲ煽動シタル場合ヲ規定シテ居ルノデアリマス、而シテ國體ノ變革又ハ私有財産制度ノ否認ノ實行ヲ煽動スルニ當リマシテ、結社組織ニ依ツテ國體ノ變革ヲ爲シ、私有財産制度

ノ否認ノ實行ヲ期セヨト斯ウ煽動スル場合ハ固ヨリ第三條ニ該當スルノデアリマス、而シテ第三條ノ所定ノ刑罰ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮デアリマスガ、第四條所定ノ刑ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮デアリマス、之ニ付テ見マスルト治安維持法自體ニ於キマシテ暴行脅迫ヲ結社組織ヨリ重ク見テ居リマスノニ拘ラズ、第一條ノ結社組織加入ノ行為ガ刑法ノ内亂罪ヨリモ重ク處斷セラレテ居ルト云フコトハ大ナル自家撞著デアリマス、是ハ要スルニ緊急勅令ニ依ッテ定メラレタル刑罰ハ重刑デアアルバカリデナク、他ノ刑罰法ニ比較シテ釣合ガ取レテ居ラヌノデアリマス、即チ極メテ不公平ノ重イ刑ガ科セラレテ居ルノデアリマス、如何ニモ共產黨ト云フヤウナモノハ憎イヤツデアアル、是ハ飽マデ重刑ヲ科シテ糾弾シナケレバナラヌト云フヤウナ考ヘカラ、恰モ感情のニ刑ヲ定メラレタヤウナ感ジガ致スノデアリマス、刑罰法規ヲ定ムルニ當リマシテハ、徹頭徹尾理性的デナケレバナリマセヌ、處罰スベキ行為ヲ決定スル上ニ於テモ、科刑ニ於テモ飽マデ理性ノ判斷ニ訴ヘテ公正ヲ期セナケレバナラヌノデアリマス、不公正デアリ感情のニ見エルコトハ最モ慎マナケレバナリマセヌ、左様デナケレバ刑罰所定ノ目的ヲ達スルコトハ到底不可能デアアルノデアリマス、共產黨ノ計畫行動ハ、我が帝國ニ於テ天人共ニ容サザル不逞ノ行為デアリマス、從テ斯ノ如キ行為ヲ豫防スルガ爲ニ、嚴密ナル警察ノ警戒ヲ加ヘテ、苟モ行ハレタル行為ニ對シマシテハ、強ク之ヲ糾弾シナケレバナラヌコトハ固ヨリ論ヲ俟タヌ所デアリマス、併ナガラ其警戒糾弾ハ周密嚴格ナルコトヲ必要ト致スノデアリマスガ、決シテ警察ニ互リ峻酷ニ陷ッテハナリマセヌ、思想犯罪ヲ取締ルニ當リマシテ、其警戒ハ如何ニモ苛察デアアル、此刑罰ハ如何ニモ峻酷デアアルト世人ガ認メルヤウナ取締リ方ハ、犯罪ヲ激成スルバカリデ之ヲ撲滅スル所以デアリマセヌ、緊急勅令制度ノ後ニ、彼等共產黨ノ一味ハ自暴自棄ニ陷ッテ居ルノデアリマス、從來共產主義者等ハ宣傳ニ付テハ隨分巧妙ニ致シテ居タノデアリマスガ、直接行動ハ致シテ居リマセヌ、然ルニ此勅令制定ハ、彼等ハ「ピストル」其他ハ兇器ヲ擁シマシテ死物狂ヒニナッテ居ルノデアリマス、又近頃ハ露西亞ニ於ケル「街頭ヨリ穴藏ヘ」ト云フ標語ニ則リマシテ、彼等ノ所謂地下運動ヲ案出イタシマシテ、其行動ハ著シク潛行的ニナッテ居ルノデアリマス、茲ニ於テ私ハ司法大臣ニ第二ノ質疑ヲ致シタイノデアリマス、緊急勅令所定ノ刑ハ甚シク重刑デアリ、極メテ不公平ナル重刑デアリマスガ、司法大臣ハ之ニ依ッ

テ思想犯罪ニ對シテ、刑政ノ目的ヲ達シ得ルト御考ヘニナリマスカ、御深切ニ御答ヲ御願ヒ致シマス、尙ホ此外ニ内務大臣ニ御尋ネ致シタイ點ト、總理大臣ニ一言申上ゲタイ點ガアルノデアリマスガ、時間ノ關係ガゴザイマスルノデ、此邊デ一應打切りマシテ、一應御答辯ヲ御願ヒ致シタイト考ヘマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今松村君ノ第一ノ御尋ニ對シマシテ、第十五議會ニ於テ此治安維持法ノ審議未了ニ終リマシタコトハ誠ニ遺憾ニ存ジテ居ッタノデアリマスガ、其後一旦檢舉イタシマシタケレドモ、更ニ檢舉漏レノ人々、又乃至ハ新ニ露西亞カラ歸ッテ更ニ第二ノ行動ヲ取ラムトスル其情勢ガ段々分ルヤウニナッテ參リマシテ、之ヲ打捨テ、置クト云フコトガ甚ダ危險デアアル、斯ウ考ヘマシタ故ニ緊急勅令ノ處置ヲ政府トシテハ執ッタ次第デアリマス、何等其間ニ彼是レ私情云々ト云フコトハナイノデアリマス、而シテソレナラバナゼ臨時ノ議會ヲ召集スル手續ヲ執ラヌカト云フ第二ノ御尋ニ對シマシテハ、私共ハ斯様な場合ヲ顧慮セラレテ此憲法第八條ガ制定サレタルモノダト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ此緊急勅令ノ處置ヲ執ッタ次第デアリマス、更ニ第三ノ御尋ニ對シマシテハ、陛下ノ御仁慈ニ互ラセラルル大御心ハ申スマデモナイ次第デアリマス、去リナガラ政府トシテハ當然斯様な處置ヲ執ルト云フコトハ、總テノ治安ヲ維持スル上ニ必要デアルト考ヘテ爲シタ次第デアリマス、大體是デ御了解ヲ……

〔國務大臣原嘉道君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原嘉道君) 松村君ノ第一ノ御尋ハ第五十五議會ニ於テ司法大臣ハ治安維持法ノ通過ニ努力シナカッタ、又會期ノ延長ニ努力シナカッタ、其理由ハ如何デアアルカ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、私ハ第五十五議會ニ於キマシテ、治安維持法ノ通過ニハ隨分努力シタ考デアリマス、御承知ノ通り治安維持法ガ提出セラレマシタノハ、成程松村君ノ仰セノ通り四月二十八日デアリマスガ、此法律ハ事態ガ重大デアアルコトハ勿論デアリマスルケレドモ、内容ハサウ複雑ノモノデハナイノデアリマス、從ッテ之ニ對スル意見ヲ決メルト云フコトニ、サウ長イ時日ヲ費スモノトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、我國ニ於テ國體ノ變革ヲ主張スル結社ヲ組織シテ、日本全國ニ互ッテ細胞組織ヲ設ケテ、露國ノ共產黨ガ露國ノ國家ヲ覆シタ例ニ倣ッテ、日本ノ國家ヲ覆サムト

スルト云フヤウナ計畫ヲ爲ス者ガ出テ來テ、サウシテ其殘黨ガ遺憾ナガラ未ダ縛ニ就カナイ者ガアル、是ハ常識カラ見テ尙ホ引續イテサウ云フ企畫ヲ進メルデアラウト思ハレルノデアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ際シテ、我日本國民ノ選良タル帝國議會ノ議員諸君ガ、長イ間掛ッテ此問題ヲ御考ヘニナラナケレバ、御決心ガ付カスト云フ程ノモノデハナイト考ヘテ居ッタノデアリマス、松村君ハ先程此治安維持法ハ帝國議會ノ慎重審議ヲ經テ、大正十四年ニ定メラレタモノデアリマスシテ、此改正ヲスルニ付テハ、更ニ能ク理由ヲ詳細ニ説明シテ、議會ノ諒解ヲ求メナケレバナラヌデハナイカト申サレマシタガ、仰セノ通り大正十四年ニ治安維持法ヲ制定サレタ時ニ、帝國議會ノ協賛ヲ經テ、定メラレタモノデアリマスカラ、第五十五議會ニ於キマシテ、日本共產黨ナルモノガ、如何ナル活動ヲシテ居ッタカト云フコトノ狀況ガ、議會ニ明カニナリマシタナラバ、之ヲ改正スル必要ガアッタト云フコトハ直チニ御諒解下サルコトデアッテ、此法律ノ審議ニ、左様ニ長キ時日ヲ要スルモノトハ考ヘテ居ラナカッタノデアリマス、併ナガラ衆議院ノ委員會ニ於キマシテハ、如何ナル理由デアリマスルカ、委員長ハ其當時民政黨デアリマシタカニ所屬ノ方デアッタノデアリマスガ、此議案ヲ委員會ニ付セラレタノミデ、容易ニ委員會ヲ開カレナイ、故ニ已ムコトヲ得ズ、政府委員カラ委員長ニ度々交渉ヲシテ戴イテ、サウシテ委員會ヲ開カレマシタガ、委員會ガ開カレマスルト云フト、僅カノ時間開會スルト、正午ニナルト直チニ散會シテ、次ノ日モ直グニ指定サレナイト云フヤウナコトデアリマシタノデ、其進行遲タトシテ進マナイ、已ムコトヲ得ズ私ハ親シク委員長ニ面會シテ、此議案ノ審議ヲ速ニ進メラレムコトヲ求めマシタノデ、委員長モ之ヲ諒トセラレマシタケレドモ、遂ニ遺憾ナガラ矢張り進行ガ後レマシテ、議會閉會ニ至ッテ仕舞ッタト云フヤウナ事情デアリマシテ、私ハ當局者ト致シマシテハ、此案ノ通過ニ隨分努力シタ考デ居ルノデアリマス、而シテ更ニ松村君ハ、其當時ニ於テ共產黨ノ殘黨ガ、尙ホ目的ノ遂行ニ努メルデアラウト云フコトハ容易ニ推知シ得ラレタノデアリカシテ、議會ノ延長ヲ主張シテ、而シテ此議決ヲ求ムベキガ當然デハナカッタカト仰セラレマシタ、成程共產黨ノ如キ不逞ノ徒ハ檢舉ニ漏レテ居リマシテモ、容易ニ其目的ノ遂行ヲ止メルモノデハナイノデアリマスカラ、此目的ノ遂行ニ努メテ居ルデアラウト云フコトハ推測シタノデアリマスケレドモ、未ダ其當時ニ於テ是ダケノコトヲシテ居ルト云フ事實ハ少シモ舉ッテ居ラナカッタノデア

ル、即チ推測ニ過ギナカッタノデアリマス、ソレダケノ事實デアリマスカラ、私ハ何處マデモ會期ヲ延長シテ、此法律ヲ議決シテ戴カナケレバナラヌト云フダケノ確信ハマダ付カナカッタノデアリマス、後カラ見マスト云フト共產黨ノ殘黨ガ其目的ノ遂行ニ努メテ居ッタト云フ色々ノ證據ガ出テ參リマシテ、ドウシテモ是ハ棄テ置ク譯ニハ行カス、緊急勅令ヲ以テシテモ尙ホ彼等ノ目的ノ遂行ヲ防止スル必要ガアル、一般國民ニ警戒ヲ與ヘ、又彼等不逞ノ企テヲシテ居ル者ニ對シテモ警戒スル所アラシメテ、國家ノ治安ヲ維持シナケレバナラヌト云フ必要ヲ感ズルニ至ッタノデアリマスケレドモ、第五十五議會開會中ニ於キマシテハ、マダ彼等ハ何カヤッテ居ルニ違ヒナカラウト思フダケデ、之ヲ證明スベキ事實ト云フモノハマダ舉ッテ來ナカッタノデアリマスカラ、後日カラ見マスト云フト、松村君ノ仰セノ通り私ハ甚ダ不明デアッタノデ、彼等ガヤッテ居ルダラウト推知シタダケデヤッテ居ルト云フコト迄ノ確信ヲ持タナカッタト云フコトハ、是ハ私ノ不明トシテ諸君ニ對シ申譯ナイト申シテ宜シイノデアリマスガ、其當時ノ事情カラ申シマス、マダ明ニ證據ガナイカラ、議會ヲ延長シテモ議決ヲシテ戴カナケレバナラヌト、ドコ迄モ主張スルダケノ決心ヲ持ツニ至ラナカッタト云フノガ、事實ノ真相デアリマス、然ルニ議會閉會後ニ至リマシテ、各種ノ文書ニ依リマシテ彼等ガ愈々活動ヲ繼續シテ居ルト云フ事實ガ段々現ハレテ參ッタノデアリマス、而シテ松村君ハ先程サウ云フ事柄ハ、從來ダッテ屢々アッタノデアルト言ハレルノデアリマスケレドモ、從來アッタト言ハレルノト、今回ノ共產黨ノ檢舉ニ依ッテ現レタ事實ハマルデ程度ガ違ッテ居ルノデアル、今回ノ共產黨ノ檢舉ニ依ッテ現レタヤウナ事實ガ、尙ホ繼續サレルモノデアルト云フコトニナリマシテハ、從來モサウ云フコトガアッタノデアルト云フヤウナコトデハ、私共ハ到底満足スルコトハ出來ナイノデアッテ、日本ノ國家ト致シマシテハ、此國體ノ變革ヲ企テ、日本ノ國家ヲ覆滅セムトスルガ如キ企テヲ現ニ遂行シツ、アル者ガアル、而シテ又國外カラ之ニ訓練ヲ經テ者ヲ派遣シテ此日本國家ノ覆滅ノ企畫ヲ進ムトスルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、マルデ規模ノ違フ……小サイ規模デヤッテ居ッタ……從來ニモアッタヤウナコトモアルト云フヤウナコトダケデ、日本ノ國家ノ治安ガ維持出來ルモノトハ到底考ヘナカッタノデアリマス、故ニ松村君ガ從來アッタト言ハレルノハ、切レ切レニ、事柄ヲ分ケテ見レバサウ云フコトモ從來モアッタ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスケレドモ、昨年ノ共產黨事件ニ依ッ

テ現レテ來タヤウナ重大ナル事態ノモノガ存在シテ居ッテ、其一端ヅ、ガ各所ニ現ハレテ來テ彼等ガ活動ヲ續ケテ居ルト云フコトガ分ッタノニ比シマシテハ、全ク事情ガ違ッテ居ルノデアリマスカラ、斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、日本ノ國家ノ治安ヲ維持スルガ爲ニ、法律ノ改正ヲ斷行スルト云フコトハ誠ニ已ムヲ得ナイコトデアラウト考ヘルノデアリマス、第二ノ御問ハ内亂罪トノ比較ヲナサレテ、内亂罪ニ比シテ治安維持法ノ罪ハ重キニ失シハシナイカト云フ御尋デアリマス、是ハ案ノ内容ニ關スルコトデアリマスカラ、細イコトハ無論委員會ニ於テ詳細御説明申上ゲルコトニ致シマス、併シ大體ヲ申デマスト云フト、我が刑法ニ内亂罪ト云フ規定ハアリマス、併ナガラ皆様御承知ノ通り日本ノ初メテ刑法ヲ制定シタ時カラ現行刑法ヲ制定スルニ至リマサル迄ノ間ニ、日本ノ内亂罪ト云フモノガ……日本ノ國體ヲ變革シテ日本ノ國家ヲ覆滅セシメムトスルヤウナ内亂罪ガアルト云フコトハ一體ドナタカ御考ヘニナッタ方ガアルデアリマセウカ、日本ノ内亂ト申シマスレバ、御維新後起リマシタ例ニ依ッテ御覽ニナッテモ分リマスル通り、佐賀ノ亂デアルトカ、熊本ノ亂デアルトカ、或ハ西南ノ役デアルトカ申シマシテモ、是ハ皆日本ノ國體ヲ變革シテ日本ノ國家ヲ滅サウト云フヤウナ企テハナイノデアッテ、單ニ時ノ政府ト政見ヲ異ニスルト云フヤウナ事柄ニ過ギナカッタノデアアル、内亂ト云フモノハ日本デハ詰リ時ノ政府ニ對シテ起ルモノデアルト云フ觀念ガ強カッタノデアアル、併ナガラ直接ニ此國體ヲ變革ヲ目的トスルト云フヤウナコトガアルト考ヘタ人ハ餘リナカッタノデアリマスルカラ、サウ云フコトヲ直接ニ書カズニ置イタ爲ニ、今日ノ刑法ノ解釋デ言フト、朝憲案亂ト云フ中ニ國體ノ變革モ含ムト、斯ウ言ハナケレバナラスコトニナッテ來タノデアッテ、元來内亂罪ト云フ罪ヲ設ケル時ニハ、日本ノ國體ヲ變革シテ、日本ノ國家ヲ覆滅シテシマウト云フヤウナモノガ起ルデアラウト云フコトハ、全然豫想サレナカッタコトデアアルノデアリマス、然ルニ甚ダ遺憾ナル事柄ハ、外國ノ影響ヲ受ケタトデモ申スノデアリマセウカ、近年ニ至リマシテ世界革命ノ一部トシテ、日本ノ國家ニ革命ヲ起シテ、而シテ日本ノ國體ヲ變革シテ、日本帝國ヲナクシテシマウト云フヤウナ不逞ノ思想ヲ抱ク者ガ出來テ、而シテ其手段タルヤ、矢張り外國ニ於テ發達シ、外國ニ於テ實行サレタ頗ル用意周到ナル方法ヲ採用シテ居ルト云フヤウナ有様デ、此危險ナルコトハ從來刑法制定當時ニ考ヘラレタヤウナ事柄デハ全然ナイノデアリマス、故ニ私共ノ考ヘルノデハ、國體ノ

變革ヲ目的トスル結社ヲ組織シテ、而シテ日本ノ國家ヲ覆サムトスルガ如キモノハ、内亂罪ノ中デ最モ重キ部分ノモノニ該當スルモノデアラウト思フ、之ヲ内亂罪トシテ見ルト致シマシタ時ニハ……故ニ松村君ガ指摘サレタ内亂罪ノ中デ事情ノ輕イモノト、此治安維持法ノ第一條トヲ比較サレテ、内亂罪ヨリモ治安維持法ノ方ガ罪ガ重イノハ不公正デアルト仰セラレマスルガ、私ハ日本國家ノ見地カラ見マスルト云フト、治安維持法ニ定メタ罪ナルモノハ内亂罪中ノ最モ情狀ノ重キモノト同視スベキモノデアラウト考ヘルノデアリマス、從ッテ日本國家ト云フ見地カラ見マシタナラバ、此治安維持法ノ定メマシタ罪ハ極メテ公正ナル刑罰ノ規定デアッテ、少シモ之ガ爲ニ刑ノ權衡ヲ失スルトカ、公正ヲ失フトカ云フ虞ハナイモノデアアルノデアラウト考ヘルノデアリマス、繰返シテ申シマスルガ、日本ノ刑法ニ定メテアル内亂罪ナルモノハ、日本ノ國體ヲ變革シ、國家ヲ覆滅セムトスルガ如キ企テガアルト云フコトヲ考ヘテ、之ヲ目的トシテ設ケタモノデハナイノデアリマス、モットモット日本ノ國家カラ見レバ、輕イ事柄ヲ見テ定メタノデアリマスルカラ、既ニ世界革命ヲ目的トスル外國ノ結社ノ指揮ノ下ニ日本ノ國體ヲ變革シ、日本帝國ヲ覆滅ヲ圖ルト云フヤウナ目的ヲ有ッテ而シテ其組織方法ガ悉ク外國ニ於テ發達シタ所ノモノニ倣ッテ、之ニ依ッテ日本ノ國家ヲ覆滅セムトスルガ如キモノデアリマスルナラバ、治安維持法第一條ニ定メタ如キ科刑ヲ以テスルコトハ誠ニ相當ナコトデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 松村君ニ御相談ヲ致シマスガ、松村君ノ質疑ハマダ續イテナサル御希望ト考ヘマスガ、午後ノ會議ニ御譲リヲ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○松村義一君 議長ノ御考ノ通りデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 休憩イタシマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時六分休憩

午後一時四十八分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

本日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大藏省所管事務政府委員

專賣局長官 平 野 亮 平 君

本日請願委員長ヨリ請願委員土田萬助君ヲ第三分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、昨五日、本院議員

從五位勳三等松本剛吉君卒去セラレマシタ、就キマシテハ弔辭ヲ贈ルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午前ヨリ引續キマシタ質疑ノ發言ヲ許シマス、松村義一君

〔松村義一君演壇ニ登ル〕

○松村義一君 總理大臣ニ質問ヲ致シマシタ第一點ハ如何ナル理由ニ依ッテ緊急ノ必要ヲ認定セラレタカト云フコトデアリマスガ、ソレニ對シテ總理大臣ノ御答ハ檢舉漏レノ者ガアツテマダ十分ニ檢舉ノ徹底ガ出來テ居ラス、更ニ露西亞ヨリ共產黨大學ヲ卒業シテ歸ッテ者ガアツテ、是等ノ者ガ色色危険ナル行動ヲ續ケムトシテ居ル、是ダケノコトヲ緊急ノ必要ナル所以トシテ御説明ニ相成ッタデアリマス、併ナガラ私ガ質問ヲ申上ゲマシタノハ、其總理大臣ガ御答ニナツタ事實、其外原司法大臣ガ説明ヲセラレタ事實、是等總テノ具體的ノ事實ハ從來カラ有ツタモノデアアル、度々有ツタモノデアアルノデ、何等緊急ノ必要トシテ掲ゲラレル理由ヲ成サヌモノデアアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ質問ヲ致シタノデアリマス、其質問ニ對シテ、是等ノ事實ガアルト云フコトダケヲ御答ニナリマシテモ、是ハ何等御答トシテノ價值ガ無イモノデアアルデアリマス、私ノ質問ニ對シテハ其外ニ斯ウ云フ事情モアルト云フヤウナ工合ニ御答ニナリマスルカ、然ラザレバ從來度々繰返サレタ事實デアルケレドモ、尙ホ斯ウ云フ理由ガアルノデアアルト云フヤウナ工合ニ更ニ理由ヲ御附加ヘニナルカ、何レカデナケレバ御答辯ノ體ヲ成サヌト思フノデアリマス、唯是等ノ事實ガアルト云フコトダケデハ御説明ヲ承ッテ何等了解シ得ザルノミナラズ、其御説明ナルモノハ有ツテモ無クテモ何ノ役ニモ立タヌノ

デアリマス、又第二ノ質問ト致シマシテ、何ガ故ニ特別議會デモ召集シテ：御召集ニナツタガ宜カラウト思フノデアアルガ、何故特別議會モ御召集ニナラナカッタカ、輿論ノ反對ガアリ、識者ノ強キ反對ガアルノデアアルカラ立憲政治家ノ態度トシテハ議會ノ議ニ掛ケラレルコトガ適當デアッタデアリマセウト私ハ申上ゲタノデアリマス、尙ホ其時、附加ヘマシテ憲法第八條ノ解釋ヲ承ル必要ハナイノデアリマス、立憲政治家ノ態度ヲ承ルノデアアル、斯ウ申上ゲタニモ拘ラズ、其答ハ斯様ナ場合ニ憲法第八條ガアルノデアアル、斯ウ云フ御答デアリマスルト云フト、矢張り御答ヲ成サヌノデアリマス、其事ハ私が申上ゲテアルノデアリマス、申上ゲテアル事ニ對シテ其事ヲ御答ヘニナツタ、立憲政治家ノ態度トシテ、輿論ノ反對ガアリ識者ノ反對ガアルナラバ、特別議會ヲ召集シテ輿論ノ府ニ問ハレタノガ宜イノデアアル、ソレガ本當ノ立憲政治家ノ態度デアアル、斯ウ申上ゲタノニ拘ラズ、其點ニ付テハ何等ノ御答ガ無イノデアリマス、更ニ第三ノ問題ニ付キマシテハ御答辯ヲ得マシテ尙ホ私ハ之ニ對シテ満足ガ出來ヌノデゴザイマスルガ、事ノ性質上、其事ヲ度々論議イタシマスルコトハ差控ヘタイト考ヘマスノデ、是レ以上追究ハ申上ゲナイコトニ致シマス、併ナガラ之ヲ要スルニ總理大臣ノ御答辯ハ全然御座ナリノ御答デアアルノデアリマス、眞ニ立憲政治家ノ態度トシテ質問ガアレバ十分ニ之ニ對シテ答ヘ、之ニ對シテ了解ヲ與ヘシムルト云フ何等ノ熱モ何モナイノデアリマス、唯、責塞ギニチヨット御座ナリノ御答辯ヲナサツタニ過ギナイ、而モ其御座ナリノ答辯モ最モ甚シイ御座ナリノ答辯デアアルノデアリマス、寧ろ帝國ノ安危ヲ雙肩ニ御荷ヒニナル總理大臣ト致シマシテハ、モウ少シ立憲的ニ深切ナル御答辯御説明ガアルコトガ然ルベキモノデアアルマイカト思フノデアリマス、先程ノ御答辯ヲ戴キマシテ私ハ非常ニ遺憾ヲ感ジ、誠ニ不満足ニ考ヘタルノデゴザイマス、更ニ司法大臣ノ御答デゴザイマス、第一ノ私ノ質問ハ昨年ノ特別議會ニ於テ司法大臣ガ法案ノ通過ノ爲ニ努力セラレナカッタ爲ニ、遂ニ緊急勅令ノ發布ヲシナケレバナラヌヤウニナツタノデアアル、是ハ司法大臣ノ怠慢デハゴザイマセヌカ、斯ク申上ゲタノデアリマスガ、之ニ對シテ司法大臣ハ法案ノ通過ニ努力ヲシタノデアアル、而シテ法案ノ内容ハ複雑デハナイ、從テ審議ニ時日ヲ費サナクテモ宜イノデアアルガ、委員會ガ……衆議院ノ委員會ガ審議ノ進捗ヲ圖ラナイノデアアルト云フ御話デ、恰モ衆議院ノ委員會ガ極メテ冷淡デアアルト云フヤウナコトヲ以テ御答ニナツテ居ルノデアリマス、是

ハ國務大臣ノ御答トシテハ誠ニ遺憾ヲ禁ジ得ナイモノデアアルノデアリマス、御自分ノ方デ十分ナル熱ヲ以テ御迎ヘニナリマシタナラバ、相手モ亦其熱誠ニ感ジテ審議……事ノ進捗ヲ圖ルコトガ出來ルデアラウ、司法大臣ノ御盡力ハアツカモ存ジマセヌガ、其御盡力ナルモノニ熱ガナカッタ、從テ遂ニ委員會ノ進捗ガ出來ナカッタデアラウト思フデアリマス、又内容ハ複雑デナイ、從テ審議ニ時日ヲ要セヌト仰シヤルノデアリマスガ、内容ハ複雑デハナイケレドモ、此問題ニ付テハ相當議論ノアルコトデアリマス、從テサウ簡單ニ審議ハ進マナイコトデ當然デアラウト私ハ考ヘル、併シソレハ免ニ角ト致シマシテ、司法大臣ハ内容ハ複雑デナイ、從テ審議ニ相當ニ時ヲ要セヌト云フ御考デアリマスナラバ、何故ニ會期ノ延長ヲ閣議ニ提出サレヌノデアリマスガ、特別會議ニ於キマシテハ御承知ノヤウニ停會ニ停會ヲ續ケテ、此法案ヲ審議スル時日ハ僅カ四日カ五日位シカナカッタデアリマス、其間ニ於キマシテ貴衆兩院ノ審議ヲ終ルト云フコトハ固ヨリ困難デナケレバナリマセヌ、政府ガ若シ停會ニ停會ヲ續ケナカッタナラバ、或ハ相當ノ審議ノ進捗ガ行ツタカモ知レヌノデアリマスガ、政府ガサウ云フ停會ト云フ態度ヲ執ラレタ爲ニ、遂ニ此法案ガ審議ガ行カナカッタデアアルノデアリマス、デアリマスカラ會期ノ延長ヲ圖ツテ御ヤリニナルト云フコトガ、寧ロ當然デハナカッタカト思フノデアリマス、殊ニ司法大臣ハ審議ニ時日ヲ要セヌト仰シヤルナラバ、相當ニ時日、日ニテ御延バシニナルト云フコトガ寧ロ適當デアッタラウト思フノデアリマス、尙ホ其事ニ付キマシテマダ事實ガ確實デナイ、彼等共產黨員ガ不穩ノ計畫ヲナシテ居ルト云フコトハ、實際十分ニ推知シ得ベキデアッタガ、實際事實ガ起ツテ居ラヌカラ確實デナイ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、司法大臣ノ……先刻私ガ申シマシタ聲明ニ依リマスナラバ、容易ニ推知シ得ベキ所デアッタト書イテアリマス、推知シ得ル而モソレハ容易ニ推知シ得ルトコロデアリマス、固ヨリ左様デアリマセウ、從來彼等ハ不穩ノ行動ヲ續ケテ居ッタノデアアル、大正十二年ノ檢舉ノ後デモ、サウ云フコトヲシテ居ッタノデアアル、從テ聰明ナル人ガ考ヘナクテモ、斯ノ如キ場合ニ於テハ尙ホ不穩ノ行動ヲ續ケルト云フコトハ殆ド分リ切ツタコトデアアル、司法大臣モ分リ切ツタコトデアルト云フコトヲ言フテ居ラレルノデアリマス、分リ切ツタコトデアアルナラバ、政治家ノ態度トシテハ豫メ其對策ヲ御講ジニルナト云フコトガ當然デナケレバナラヌノデアリマス、分リ切ツテ居ルニモ拘ラズ尙且ツ事實ノ判明ヲ待ツト云フコト

ハ、如何ニモ愚ナ態度ト申サナケレバナリマセヌ、其事ニ付テ不明デアツカモ知ラヌガ、怠慢デハナイト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ私ハ全然怠慢デアツタト思フノデアリマス、原司法大臣程ノ聰明ナル人ガ斯ノ如キコトハ無論起ルコトトモ御考ヘニナツタコトデアアル、ソレヲ其前ニ方法ヲ講ゼラレナカッタト云フコトハ、如何ニモ政治家トシテ誤マラレタト云フコトハ殆ド明瞭デアルト思フノデアリマス、ソレカラ尙ホ是ハ總理大臣ニ質問ヲ致シマシタ中ノ事實ニ付キマシテ、緊急ノ必要トシテ政府ガ聲明シテ居ラレル具體的ノ事實ハ從來度々アッタノデアアル、斯ウ申シタノニ對シマシテ、昨年三月十五日ニ檢舉シタヤウナ事實ハ從來ナカッタノデアアル、斯ウ御話デアアル、私ハ昨年三月ニ起ツタヤウナ大キイ事實ハ從來アツタト申スノデハナイノデアリマス、共產黨檢舉後ニ色々不穩ナ計畫ヲスルトカ、或ハ第三師團出發ノ際ニ不穩ナ宣傳ビラヲ配ル、或ハ露國カラ共產黨大學ヲ卒業シテ歸ツタ者ガアルト云フヤウナ、サウ云フヤウナ箇々ノ事實ハ從來度々アッタノデアアル、繰返サレタノデアアル、斯ウ申シテ居ルノデアアル、從來モ或ハ曉民共產黨事件ガアリ、更ニ祕密結社共產黨事件ガアッタノデアリマス、是ハ事實ト致シマシテハ昨年檢舉セラレタモノト程度ヲ同ジウスルモノデアリマスガ、其關スル人ノ範圍ニ於テ非常ナ差違ガアルノデアリマス、從テ昨年檢舉サレタヤウナ事實ハ未ダ曾テナイノデアリマス、ソレヲ私ハ申シタノデハナイノデアリマス、若シ司法大臣ガ昨年檢舉シタヤウナ事實ガアルカラ、ソレデ緊急勅令ノ必要ガアル、斯ウ云フ御話デアリマスナラバ、既ニソレハ特別議會當時ニ分ツテ居ルコトデアリマス、特別議會後ニ起ツタ事實デハナイノデアリマスカラ、サウ致シマスナラバ一層緊急勅令制定ノ理由ガナクナルノデアリマス、更ニ治安維持令ノ内容ニ付キマシテ、御尋ヲ致シマシタノニ對シマシテ御答ヲ得タノデアリマスガ、其御答ノ大體ハ、内亂罪ニ付テ國體變革ト云フヤウナ實例ヲ豫想シ得ルカ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、固ヨリ國體變革ト云フヤウナコトヲ豫想スルコトダモ恐懼ノ至リデアリマス、斯ノ如キコトハ固ヨリアツテハナラヌコトデアアルノデアリマス、併ナガラ法律ガ之ヲ規定イタシマス場合ニ於キマシテハ明カニ法律ハ之ヲ豫想シテ居ルノデアリマス、司法大臣ハ國體變革ト云フコトハ、朝憲案亂ノ中ニ入レナケレバナラヌガ、併ナガラ是ハ刑法制定當時ニ豫想ハシテ居ナカッタノデアアル、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、從來民間ニアラレテ法曹界ノ泰斗トシテ盛名ノアッタ原司法大臣トシテ、而モ現閣僚中最モ聰明ナル御方

トシテ世間ガ考ヘテ居ル原司法大臣トシテ餘リニ其御説明ハ相應ハシカラヌモノデアルト思フデアリマス、刑法第七十七條ニ依リマスレバ、政府ヲ顛覆シ邦土ヲ僭竊シ其他朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ」云々ト書イテアリマス、政府ノ顛覆ト云フ文字ガ一番初メニ掲ゲテアリマス、而シテ此文字ハ明カニ主權ノ所在ニ關スルコトヲ意味シタモノト考ヘナケレバナラスノデアリマス、法律ハ固ヨリ之ヲ豫想シテ作ツテ居ルノデアリマス、私共ガ臣民トシテ斯ノ如キ事實ヲ忌ミ、斯ノ如キ事實ガ起ルト云フコトヲ想像スルコトハ恐懼デアリマスケレドモ、法律ハ豫想ヲシテ居ルノデアリマス、法律ハ朝憲案亂トシテモウ少シ輕イ事實ヲ豫想シテ居ルニ過ギヌノデアッタ、斯ウ云フ御話ハ如何ニモ子供欺シノ御説明ナサルト致シマシテハ、餘リニ貧弱デアルト失禮ナガラ申サナケレバナラスノデアリマス、而モ聰明ナル原司法大臣ガ其事ヲ御答ヘニナリマスルト云フコトハ、誠ニ不可思議千萬ト申サナケレバナラスノデアリマス、更ニ私ハ續イテ内務大臣ニ此緊急勅令施行ノ結果ニ付テ御尋ねスルノデアリマス、先刻、司法大臣ハ昨年下半年期ニ於テ御大典ガ行ハセラレ、從テ此時期ハ特ニ靜謐ヲ要スルト云フコトヲ以テ、此勅令發布ノ事由トシテ述ベラレタノデアリマスガ、治安維持法ノ改正ガ果シテ實際ニ於テ御大典ノ際、靜謐ヲ維持スルノ效ヲナシタデアリマセウカ、私ハ大ニ疑フ有スル者デアリマス、先ヅ私ハ其當時ノ警察取締ニ付テ申上ゲテ見タイト考ヘマス、御大典ノ際ニ内務大臣始メ全國ノ警察當局ハ寢食ヲ忘レテ御心配ナサレ、御盡力ヲナサレマシタコトハ、私共ノ多トスル所デアリマス、從テ殊更ニ其非ヲ發イテ之ヲ非難スルコトハ私ノ本意デハアリマセヌ、併ナガラ此非立憲ナル緊急勅令ガ御大典ニマデモ累ヲ及ボシタルモノデアアルコトヲ考ヘマスル時ニ、事實ニ付テ之ヲ檢討イタシマシテ、皆サンノ御批判ヲ仰ギ、又當局ノ説明ヲ促スコトハ已ムヲ得ザルモノデアリマス、御大典ノ際ニ於ケル警察取締ハ、苟モ靜謐ヲ害スル事故ヲ除却スルコトニ努メルコトハ勿論デアリマスガ、之ト同時ニ赤誠ノ溢ル、國民ニ對シ、成ルベク心持好ク其赤誠ヲ披瀝セシムルニ努メナケレバナリマセヌ、非常識ナル取締ヲ爲シテ、平穩ナル人民ノ赤誠ノ披瀝ヲ阻碍スル如キハ嚴ニ戒メナケレバナラスノデアリマス、鹵簿ノ奉拜ニ付キマシテハ、中ニハ數十里、數百里ヲ遠シトセズシテ出テ來ル者モアルノデアリマスカラ、成ルベク多數ノ人ヲ收容シテ、其赤誠ノ披瀝

ヲナサシメナケレバナリマセヌ、然ルニ十一月六日、御發誓當日、東京ニ於キマシテハ丸ノ内一帯ニ涉ツテ交通遮斷ヲナシタノデアリマスガ、其遮斷時刻ハ警視廳ノ公示竝ニ都下新聞社ヲ通ジテ、當日午前三時ヨリ同午前八時三十分マデ之ヲ行フト云フ旨ヲ發表セラレマシタニ拘ラズ、之ガ實行ハ突然、二時間モ三時間モ之ヲ早メテ、午前零時乃至午前一時前後ニ交通遮斷ヲナシタノデアリマス、固ヨリ奉拜者ガ殺到シテ雜踏ヲ極メ、收拾困難ニ至リマシタ時ニハ時間ヲ早メテ交通遮斷ヲスルト云フコトハ決シテ不當デアリマセヌ、併ナガラ人數ヲ少カラシムルコトハ取締ニ便宜デアルト云フヤウナ譯合カラ、時間ヲ早メテ交通遮斷ヲ行フト云フガ如キコトデアリマシタナラバ、是ハ國民ヲ欺キ、赤誠ノ發露ヲ阻碍シタルモノデアッタ、不都合ト申サナケレバナリマセヌ、斯様ニ時間ヲ繰上ゲマシタ爲ニ、豫メ當局公示ノ時間ヲ信賴シテ、午前三時マデニ拜觀場所ニ到達セムトシテ、深夜到來イタシマシタ多數ノ人達ハ空シク引返スノ已ムナキニ立至リマシタ、遙々東北地方カラ奉拜ノ爲ニ上京シタ團體モ入場ヲ許サレナカッタ實例ガアルノデアリマス、警戒ニ當ツテ居タ警察官モ事實奉拜者ヲ收容スル餘地ガ十分ニアルト云フコトヲ知リナガラモ、上局ノ命令如何トモ致シ難ク、心ノ中デ同情ニ堪ヘナカッタト云フ述懐ヲナシテ居ル事例モ少クアリマセヌ、而シテ奉拜場所ノ收容ノ實際ノ狀況ハドウデアアルカト申シマス、場所ニ依ッテハ人員ノ三分ノ一二過ギマセヌ、尙ホ二倍ノ人數ヲ收容スルノ餘地ガアッタ所モアル位デアリマシテ、收容ノ餘地ガ大イニアッタノデアリマス、奈良縣ニ於キマシテハ、鹵簿御通過沿道各戸ニ對シ、同居家族、親族、同居人以外ノ者ハ行幸當日、其家ニ來ルコトヲ許サナイト云フ嚴達ガアリマシテ、屢々各戸ニ就テ檢査的戸口調査ヲナシメマシテ、非常識ナル制限ノ下ニ奉拜者ヲ少カラシメムト努メタモノデアリマス、又東京、京都、奈良其外行幸アラセラレタル各地ニ於キマシテハ、御道筋沿道各戸ニ就テ押入、便所ニ至ルマデ檢査ヲ行ハシメマシテ、是ガ爲ニ迷惑ヲ感ジタモノガ甚ダ多カッタノデアリマス、御道筋ノ各戸ノ臨檢ハ度々之ヲ行フト、便所借用ヲ口實ニ家ノ中ノ狀況ヲ詳細ニ檢査スベシト云フヤウナ内示モアッタサウデアリマス、鹵簿御通過當日ハ御道筋ハ固ヨリ、御道筋ニアラザル場所モ御道筋ニ目ノ届ク所ニ付キマシテハ、遠近ヲ問ハズ各營業者ノ家屋ニハ警察官ヲ配置シテ、各室、物置、戸棚、便所ニ至ルマデ嚴重ナル檢査ヲ行ヒマシタ、一例ヲ申上ゲマス、東京ニ於テ丸ノ内ホテルノ如キハ、

御道筋ヨリ數町ヲ距テ、居ルノデアリマスガ、嚴重ナル檢索ヲ行ッタバカリデナク、各階各室ニ泊ッテ居リマシタ日本人ハ固ヨリ、外國人ヲモ御通過時間前後ニ互ッテ、全部一番下ノ階段ニ退去セシメテ、而モ各室ノ内外ハ配置警察官ヲ以テ警戒ニ當ラシメタノデアリマス、是ハ其當時宿泊シテ居リマシタ友人カラ私ガ直接聴キ得タ所デアアルノデアリマス又十一月六日ハ東京驛ヨリ品川驛ニ至ルマデ、御召列車通行ノ前後ニ互リマシテ、高架線拱下居住者ヲ全部他ニ退去シテ……居住者ヲ退去セシメタノデアリマス、而シテ其間、警察官ヲ以テ各戸ヲ警戒シタノデアリマス、以上、申上ゲタヤウナ取締ハ、從來會テ其例ヲ見ザル所デアアルノデアリマス、奉拜者ニ對シマシテハ老幼男女ヲ問ハズ、學生生徒ノ團體ニ至ルマデ、其全部ニ對シテ身體檢査ヲ強行イタシマシテ、小刀、藥罐ノ如キモ直チニ之ヲ領置スルコト、婦人ノ持ッテ居ル紙ト雖モ之ヲ檢査スルコト云フヤウナ内命モアッタサウデアリマス、中ニハ最も非常識ナ例トシテ檢査ノタメ握飯ヲ手デ掴ミマシタル爲ニ、握飯ハ崩レテ食スルニ堪ヘナカッタト云フ實例モアリマス、又辨當箱ノ中ニ入レラレタ御飯ヲ箸デツ、キ混ゼタ爲ニ、是モ食スルニ堪ヘナカッタト云フヤウナ實例モアリマス、私ハ多數ノ奉拜者カラ其感想ヲ聞イタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ事ヲ言ッテ居ルノデアリマス、取締ガ如何ニモ非常識デアッタカラ陰鬱ナ氣分ニ陥ッテ、恰モ戒嚴令下ニ置カレタヤウナ感ジガシタノデアアル、斯ウ言ッテ居ルノデアリマス、唯畏多イコトデゴザリマスルガ、陛下ガ御通過ニ相成リ、御慈愛ニ富マセラレテ居ル龍顏ヲ拜スルニ及ンデ、感激ノ爲ニ有難サニ今マデノ不滿ヲ拭ヒ去リ得タノデアアル、斯ウ言ッテ居ルノデアリマス、誠ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ、何ガ故ニ恐怖的警備取締ヲナスニ至ッタノデアリマセウカ、當局ハ、或ハ色々ノ投書ガアッタノデアアル、或ハ不逞鮮人ノ不穩計畫ガアッタト云フヤウナコトヲ言ハレルカモ知レマセヌガ、私ハ斯ノ如キ取締ヲナスニ至ッタ最も有力ナル原因トシテ、此緊急勅令ノ發布ヲ舉ゲナケレバナリマセヌ、午前モ申上ゲマシタル通り、從來無政府主義者ハ隨分ヨク暴行脅迫等ノ直接行動ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、共產主義者等ハ斯ノ如キ直接行動ハ執ッテ居リマセヌ、唯巧妙ニ宣傳ダケヲヤッテ居ッタノデアリマス、然ルニ此勅令ノ出ルニ及ンデ、彼等ハ官憲ヨリ感情的ニ壓迫セラレルノデアアル、不公平ニ糾弾セラレルノデアアル、而シテ若シ捕ヘラレタナラバ殺サレルノデアアルト云フヤウナ感ジヲ致シマシテ、自暴自棄ニ陥リマシテ、ソレナラバ自分共モ

思ヒ切ッタ事ヲヤラナケレバナラヌト云フヤウナ氣分ニナリ、死ヲ決シタルガ如キ態度ヲ以テ直接行動ニ出ルヤウニナッタノデアリマス、即チ昨年夏頃デアリマシタカ、東京ノ本所ノ某所ニ於テ、共產黨ノ首領株デアアル三田村四郎一派ヲ捕ヘムトシテ、警察官ガ乗込シタノデアリマスガ、其際彼ハ「ビストル」ヲ亂射シテ警察官尻込ミタル隙ニ乗ジテ逃亡シタノデアリマス、此時ニ其妻女ヲ捕ヘテ取調ベマシタルニ、共產黨員ノ主ナル者ハ皆「ビストル」ヲ用意シテ居ルト云フコトガ分リマシタ、又現場ニ在リマシタ「ビストル」ヲ領置シタノデアリマスガ、此「ビストル」ハ「モーゼル」式ノ物デ「ケース」ニ這入ッテ居ルノデアリマス、而シテ「ケース」ヨリ引出シマシテモ「ケース」ト繋ッタ儘使用スルコトガ出來ルノデアリマス、即チ肩ニ當テ、恰モ短銃ノ如キ用ヲ爲スノデアリマシテ、有效著彈距離ガ千「メートル」ト云フコトデアリマス、其後、國領伍一郎ヲ捕縛シタノデアリマスガ、彼モ此「ビストル」ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、此時ハ幸ニ「ビストル」ノ安全瓣ガ掛カッテ居リマシタ爲ニ使用ガ出來ズ、幸ニ警察官ニ負傷者ヲ出サズシテ捕ヘ得タノデアリマス、共產黨ノ巨頭渡邊政之助ハ臺灣ニ逃レテ巡査ニ誰何サレテ、此「ビストル」ニテ巡査ヲ射殺シ返ス彈丸デ自殺シタト云フコトデアリマス、是等ノ事實ニ依ッテ見マスルト、彼等共產黨ノ一味ハ死ヲ決シテ直接行動ヲ敢行シテ居リ、死ヲ決シテ逃レラレルダケ逃レムトシテ居リ、又死ヲ決シテ如何ナル潛行運動ヲモ續ケテ居ルヤモ圖ラレヌト云フコトガ分ルノデアリマス、而シテ彼等ヲシテ斯ク自暴自棄ニ陥ラシメマシタノハ、實ニ彼等ヲ死刑ニ處セムトスル緊急勅令ノ發布ニ依ルモノデアアルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、昨年ノ御大典ニ際シマシテモ、彼等ハ潛行的ニ如何ナル計畫ヲ藏スルヤモ圖ラレヌノデアリマス、殊ニ千「メートル」モ有效デアアル「ビストル」ヲ用意シテ居ルノデアリマスカラ、千「メートル」標準ノ取締ヲ爲スニ至ッタノデアリマス、又殊更奉拜者ヲ少クシテ奉拜者ヲシテ不快ヲ感ゼシメルヤウナ取締ヲ爲スニ至ッタノデアリマス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

司法大臣ハ昨年下半年ハ特ニ靜謐ヲ保ツ必要ガアル、是ガ爲ニ此勅令ヲ發布イタシタト言ハレマスガ、結果ハ全然之ヲ裏切リマシテ、此勅令ノ爲ニ靜謐ヲ亂ルノ虞レアラシメ、是ガ爲メ警察官ハ非常ナル努力ヲ拂ハナケレバナラヌヤウニナッタノデアリマス、殊ニ其結果ハ忠誠ナル一般國民ニマデ不快ノ

念ヲ懷カシメル取締ヲ爲スニ至ッタノデアリマス、此點ニ付キマシテ内務大臣ハ如何ニ御考ヘニ相成リマスルカ、此點ヲ内務大臣ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス、最後ニ田中總理大臣ニ申上ゲタイノデアリマス、昨年共產黨事件ノ檢舉後、四月十一日ニ田中總理大臣ハ聲明書ヲ發表セラレマシタ、之ニ依リマスルト、今回ノ大不祥事ヲ出シタコトハ痛恨骨ニ徹シテ熱涙ノ滂沱タルヲ禁ジ得ヌノデアアル、自分ハ内閣ノ首班トシテ事件ノ顛末ヲ奏上シ奉ルニ臨ミ宸襟ヲ惱マセ給フコトノ畏レ多キ身モ心モ打チ戰キテ、九腸寸斷ノ思ヒニ堪ヘナカッタト言フテ居ラレルノデアリマス、帝國ノ總理大臣トシテ如何ニモ左モアルベキコトデアリマス、而シテ此事件ノ勃發ニ鑑ミラレテ、文教ノ振興ヲ計リ、青年學生ヲ善導シテ、拔本塞源ノ途ヲ講ジタイト思フト言ハレテ居リマス、又民族ノ發展國民生活ノ安定ヲ第一目標トシテ進ミタイノデアアルト言フテ居ラレマス、此事モ固ヨリ當然ナ事デアリマス、其言ハルル言葉ハ誠ニ宜シト申サナケレバナリマセス、併ナガラ首相ハ其後拔本塞源ノ途ヲ講ズルガ爲ニ、如何程ノ努力ヲ拂ハレマシタカ、文教ノ振興ニ付キ、民族ノ發展ニ付キ、國民生活ノ安定ニ付キ、何ヲ爲サレマシタカ、又何ヲ爲シツ、アラレマスカ、遺憾ナガラ私ハ不祥事件ノ發生ニ對シテ、熱涙ノ滂沱タルヲ禁ジ得ナカッタ首相トシテ、又事件ノ顛末ヲ奏上スルニ當ッテ、九腸寸斷ノ思ヒニ堪ヘナカッタ首相トシテ、如何ニモ其爲サル、コトノ甚シク物足ラヌコトヲ感ズルモノデアリマス、又私共ハ文教ノ振興、民族ノ發展、國民生活ノ安定ニ付テ、確乎タル首相ノ抱負ヲ聞クコトスラモ出來ヌノデアリマス、ソレバカリデハアリマセス、政府ノ今日マデ爲サル、所ヲ見マスルニ、官吏ノ任免黜陟ニ於テ、地方行政ニ於テ、鐵道行政ニ於テ、公明ヲ缺ク所ノモノガ尠クナイノデアリマス、又言論壓迫ノ如キ、暴力ノ助長ノ如キ、選舉干渉ノ如キ、議員ノ誘拐ノ如キ、是皆國民思想ヲ惡化スルバカリデアリマス

「ヒヤノ」ト呼フ者アリ

總理大臣ハ四月十一日ノ聲明ノ最後ニ於テ「殊ニ政治ニ携ハル者ノ言動ハ影響スル所極メテ大ナルガ故ニ、一層ノ注意ヲ要スルハ言フマデモナイ、自分ハ此點ニ付キ、職責ノ重キニ顧ミ、堅ク自ラ決スル所アルヲ以テ深く思ヒヲ潜メ、心ヲ專ラニシ、身ヲ以テ今日ノ國難ニ當ル覺悟デアアル、斯ウ述ベラレテ居リマスガ、今ヤ此聲明ハ反古同然ニ相成ッテ居ルノデアリマス、何卒田中總理大臣ハ三度、四度、此聲明ヲ顧ミラレムコトヲ切望イタシマス、此最後

ノ點ニ付キマシテハ、御辯明ガアレバ固ヨリ承リマスガ、是ハ御答辯ヲ御願ヒスル譯デハゴザイマセス

〔政府委員加藤久米四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(加藤久米四郎君) 只今松村君ヨリ御質問ニ相成リマシタル事柄ハ、内務大臣ヨリ御答辯申上グベキ筈デアアルノデアリマスガ、只今ハ衆議院ニ出席イタシテ居リマスノデ、便宜上私カラ御答辯申上ゲタイト思フノデアリマス、御大禮ノ行ハセラレマシタル當時ニ於キマシテ、我ガ國民上下ガ舉ッテ全國靜謐ノ下ニ、御無事ニ御終了遊バサレルコトヲ御心願申上ゲタコトハ、今更申上ゲル迄モナイムデアリマス、當時全國殊ニ御道筋ニ當リマスル御警衛御警戒ニ對シマシテハ、松村君カラ色々ト御述べニナッタ事柄ガアルノデアリマスガ申上迄モナク當時ノ警戒ハ、全國靜謐ノ下ニ無事ニ御大禮ノ御儀ガ御終了遊バサレルコトヲ目的ト致シテ、官憲ハ勿論ノコト一般國民ニ對シマシテモ、是ガ心得方ニ付キマシテ出來ルダケノ努力ヲ致シマシタル事ハ、松村サンノ御承知ノ通りデアアルデアリマス、個々ノ事柄ニ付キマシテハ、例ヘバ丸ノ内ノ警衛ノ時間ガ、三時ヨリ八時三十分ニ至ル時間デアアルノニモ拘ラズ、一時若クハ十二時ニ交通ヲ遮斷シタノハ、誠ニ拜觀者ノ心持ニ對シテ不都合デハナイカト云フ御説モアッタノデアリマスガ、是ハ十分ニ警戒ヲ致シ萬遺算ナキコトヲ期スル上ニ於テハ、多少ノ事柄ハ是亦已ムヲ得ナイコトト御諒承ヲ願ヒタイノデゴザイマス、又高架線ノ居住者ヲ移住セシメマシタトカ、或ハ懷中ノ所持物ノ檢査ヲ致シタト云フヤウナ事柄ハ、多年御經驗ノアラセラレル松村君トシテハ能ク御承知ノ通りデアリマス、斯様ナ事柄ハ取締ノ必要上、已ムヲ得ナイ事ガ多イノデアリマシテ、唯色々ニ個々ノ問題ニ付キマシテハ、或ハ多少彼此レ申スベキ事柄モナイトハ私ハ斷言イタシマセヌケレドモ、大體ノ目的ニ於キマシテ已ムヲ得ナカッタコトデアアルト、當局ト致シテハ左様ニ承知イタシテ居ルノデアリマス、松村君ハ緊急勅令ヲ發布イタシマシタルソレ自身ニ結附ケラレマシテ、御大禮ノ御警衛取締ガ嚴重デアッタヤウニ仰セラレタノデアリマスルガ、當局ト致シマシテハ共產黨取締ニ關スル緊急勅令ヲ發布イタシマシタガ爲ニ、御大禮ノ警衛ヲ嚴重ニ致シタト云フヤウナ事柄ハ承知イタシテ居リマセス、又是ト結附ケテ關係ノアルカノ如キ御意見モアッタノデアリマスガ、是ハ全然別箇ノ問題トシテ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、又緊急勅令ヲ發布イタシマシタ以後ニ於テ、共產黨其他社

會運動ヲ爲ス人ノ運動ガ熾烈ニナリ、深刻ニナリ、或ハ松村サンノ御言葉ヲ藉リテ申シマスルナラバ、死ヲ決シテ社會運動ノ表面ニ現レルト云フヤウナ事柄ガアルカノ如キ御意見デアッタノデアリマスルガ、當局ト致シマシテハ左様ナ事實ガ緊急勅令ヲ發布イタシタガ爲ニ特ニ殖エタト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマセヌ、御警衛ニ關シマシテ色ト御意見ガアッタノデアリマスルガ、是ハ吳々モ申上ケテ置キマスルガ、全國上下ヲ通ジテ御一代ノ御盛儀デアアル大禮ニ關シマシテ、多少ノ不便ノアリシコトハ、我々日本國民トシテ忍ンデ戴カナケレバナラスト云フコトヲ、附加ヘテ申上ゲタイト思フノデアリマス

○松村義一君 甚ダ簡單デゴザイマスガ、此席カラ質問イタシタイト思ヒマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○松村義一君 只今私ノ質問ニ對シマシテ、内務省ノ政府委員ヨリ御答ガアッタノデアリマスルガ、私ハ御大典ノ取締ニ際シ警察官ニ非常識ノアッタト云フコトヲ咎メルノガ本意デハナイノデアリマス、唯緊急勅令ヲ發布シタガ爲ニ、彼等共產黨員ヲ自暴自棄ニ陥ラシメテ、ソレガ爲ニ斯ノ如キ取締ヲ爲スノ已ムナキニ至ッタノデハナイカト云フコトガ主眼デアアルノデアリマス、而シテ之ニ對シテ只今參與官ノ御答ニ依リマスレバ、斯ノ如キコトハナイ、緊急勅令發布ノ結果ニ依ッテ御大典ノ取締ニ困難ヲ生ジタコトハナイ、斯ウ云フ御答デゴザイマス、政府當局トシテハマサカ緊急勅令ノ爲ニ御大典ニ累ヲ及ボシタトハ申サレマスマイ、併ナガラ事實ハ私が申シタ通りデアアルノデアリマス、是ハ私が事實聞キ質シマシテ間違ヒナイコトデアアルノデアリマス、此「ビストル」ヲ持ッテ居リマシタガ爲ニ先程申シマスルヤウニ「メートル」範圍ノ取締ヲ爲シタデハナイカ、其外人員ヲ無理ニ制限シタデハナイカ、是等ノコトハ御隠シニナリマシテモ、既ニ世間デハ能ク承知ヲシテ居ルコトデアリマスカラ、寧ロ虚心坦懷ニ事實有リノ儘ヲ御話ニナッタ方が適當デアラウト考ヘルノデアリマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 別ニ御質問モナイヤウデゴザイマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

昭和三年勅令第二百二十九號(承諾ヲ求ムル件)特別委員

侯爵 佐佐木 行忠君 伯爵 堀田 正恒君 大島 健一君
富谷 銈太郎君 鈴木 喜三郎君 志水 小一郎君
男爵 渡邊 修二君 石渡 敏一君 濱 平右衛門君

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 此場合御許シヲ得マシテ御報君ヲ申上ゲテ置キマス、衆議院議員山本宣治君ハ昨夜同氏ノ止宿セル旅館ニ於テ突如暴漢ノ凶刃ニ倒レラレタノデアリマス、遂ニ再び起ツ能ハザルニ至リマシタコトハ誠ニ悲痛ノ極ミデアリマシテ、茲ニ今回ノ出來事ニ付キマシテ深ク遺憾ノ意ヲ表シ同君ノ長逝ヲ悼ム者デアリマス、事件ノ概要ヲ申上ゲマスレバ、犯人ノ黒田保久ニガ昨五日後九時三十分頃、山本代議士ノ宿舍タル光榮館ニ參リマシテ、同代議士ニ面會ヲ求メタルガ故ニ、山本代議士ハ之ヲ自室ニ招ジマシタ、犯人ハ平素同代議士ノ行動ニ關シテ、自己ノ信念ト相容レザル點ニ付テ自決勸告書ヲ呈示シテ同代議士ノ反省ヲ求メ、其自決ヲ促シタルコトガ動機トナリ、雙方口論ヲナシ、其結果犯人ハ突如携帶セル凶器ヲ以テ同代議士ヲ死ニ至ラシメマシタ、錦町警察署ニ自首シタモノデアリマス、事件ハ警視廳並東京地方裁判所ニ於テ目下取調中デアリマス、而シテ本人及其共犯關係ノ有無ニ付キマシテハ、目下銳意調査ヲ進メツ、居ル次第デアリマシテ、判明ノ上ハ適當ノ機會ニ於テ之ヲ報告イタス考デアリマス、此段御報告申シテ置キマス

〔上山滿之進君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 上山君ハ何デゴザイマスカ

○上山滿之進君 只今ノ内務大臣ノ御報告ニ關聯ヲ致シマシテ、緊急ニ質問ヲ致シタイコトカゴザイマス、御許シヲ願ヒタイ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 只今、上山君カラ内務大臣ノ只今ノ御報告ニ對シテ御質疑ガアルサウデゴザイマスガ、之ヲ許可シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス、上山君

○上山滿之進君 簡單デアリマスカラ此席デ御許ヲ願ヒタイ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○上山滿之進君 只今内務大臣ノ御報告ヲ詳シク拜聽ヲシマシタ、私モ内務大臣ト同ジク深甚ナル遺憾ヲ感ズルモノデアリマス、此場合ニ於テ内務大臣

デモ宜シウゴザイマスシ、總理大臣デモドノ御方デモ宜シウゴザイマスルガ
伺ヒタイコトハ、政府ハ此事件ニ付テ如何ナル感想ヲ御有チニナルカト云フ
コトデアリマス、私ハ只今内務大臣ノ御報告ヲ承リツ、其最後ニ於テ此事件
ニ對スル政府ノ御感想ヲ承ルコトガ出來ルト期待ヲ有ッテ居ッタノデアリマ
ス、唯御報告ダケデ何等ノ御感想ヲ承ルコトガ出來マセヌ、同胞國民ノ何人ガ
不慮ノ災害ニ罹リマセウトモ同様ニ遺憾デアリマス、併ナガラ承ル所ニ依レ
バ山本代議士ハ思想ノ上ニ於テ普通ノ國民ト異タル立場ニ居ラレル人デア
ルサウデアリマス、私ハ一面識モゴザイマセヌガ、サウ云フコトニ承ッテ居リ
マス、サウ云フ立場ニ居ル人ガ、斯ル直接行動ニ依ッテ悲惨ノ最後ヲ遂ゲタ
ト云フコトニ付テハ是ハ重大ナル問題デアリマス、從テ斯ル事件ガ起ルト起
ラナイニ拘ラズ政府タルモノハ平素カラサウ云フコトニ對スル相當ノ御考ガ
アルベキ筋デアル、況ヤ斯カルコトノ起ッテ以上ハ直チニ其重大ナル問題ニ
付テノ御感想ガナクテハナラヌト思フ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 只今上山サンノ御質問デアリマスルガ、政府ガ上
下兩院議員ノ御身邊ニ關シ

〔大聲ニ願ヒマス、聞エマセヌト呼フ者アリ〕

殊ニ此議會中ニ於キマシテハ、出來得ル限り此御身邊ニ付テ事ノナカラシム
ルヤウニ努メルト云フコトハ是ハ當然ノコトデアルノデ、又致シテ居ルノデ
アリマス、而シテ御承知ノ如クニ思想ノ上ニ付キマシテモ色々異ッテ居リマ
スノデ甲ガ乙ヘ對シテ思想ノ上カラ不快ノ觀念ヲ有チ彼此レ云フコトハ隨
分ハ世間ニアリ勝ノコトデアルノデアリマスカラ、政府ハ是等ノ點ニ付キ
マシテ、勿論甲黨ノ人、乙黨ノ人、分リ易ク云フテ見レバ、政黨政派ノ區別
ヲ此間ニ於テ立テ、ハナラザルト同時ニ、少シモ左様ナサモシキ考ヲ有ッテ
カラ、是等ヲ處理シタコトハナイノデアリマス、豫防警察ノ上ニ付キマシテ
モ十分ナル注意ヲ促シテ居リマスルケレドモ、一ト間ノ中デモツテカラ、其人
ガ面會ヲ求メテ來、之ヲ招ジテサウシテ議論ノ結果斯ヤウナコトニナタツト
云フコトハ、誠ニ遺憾デアリマスルケレドモ、是ハドウモ如何トモシ難イ
點デアリマスノデ、平生注意ヲ促シ豫防警察ニ付キマシテモ出來得ル限りノ
コトハサシテ居リマスルケレドモ、斯ウ云フコトノ出來タコトハ甚ダ遺憾ニ
存ズルノデアリマス、又政府ハ自分共耳ニシマシタコトデモ、此人ニ對シテ

ハ斯ウ云フコトヲ聞クカラシテ何トカ考ヘネバナラヌト云フコトハ、目ニ觸
レ耳ニ觸レタ場合ニ於テハ注意イタシテ居ル次第デアアルノデアリマス、政府
ノ感想ヲ聽キタイト云フ御言葉ガアリマシタガ、政府ハ斯様ナコトノナカラ
シムベク此上共二十分ナル注意監督ヲ致シマス、今回ノ如キ出來事ニ對シマ
シテハ誠ニ遺憾ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○上山滿之進君 内務大臣ハ私ノ質問ノ意味ヲ御理解ニナラヌヤウデアリマ
ス、御答辯ヲ伺ヒマス、内務大臣ノ御所管ニ屬スル警察ノ手落ちヲ私ガ攻
撃デモシタヤウナ風ニ御了解ニナッタヤウデ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルノデ、斯
カル……ソナ根性ヲ以テ私ハ質問ヲ致シタノデアリマセヌ、御了解ニナ
ラヌヤウデアリマスカラ、今一應私ノ質問ノ意味ヲ申上ゲマス、警察ノ取締
ニ付テ此問題ニ關係ヲ致シテハ、私何等ノ遺憾ヲ感ジテ居ラスノデアリマ
ス、到底一人一人ノ體ニ付テ安全ニ保護スルダケノ警察力ト云フモノハ置カ
レル筋ノモノデアリマセヌ、特別ナ場合ニ於テ殊ニ危險ヲ感ズル時、特別
ニ護衛ノ方法ヲ御執リニナルノハ別トシテ、然ラザル場合ニ一人一人ニ其安
全ヲ保障スルダケノ護衛方法ハ執ラレナイノハ當然デアアル、遺憾デアリマ
スケレドモ……斯ノ如キ事件ノ起ッタノハ遺憾デアリマス、ソレデ警察ノヤリ
方ノ宜カッタ惡カッタ、ソナコトヲ申スノデアリマセヌ、私ノ御尋ネシタノ
ハ山本代議士ガ思想上特別ナ立場ニ居ル人デアッテ、サウシテ其人ガ極左黨デ
アルカ何カ知リマセヌガ、ソレト反對ナ立場ニ居ル人ラシイ、其人カラ直接
行動ニ依ッテ生命ヲ奪ハレタト云フコトガ、之ガ今日ノ非常ナ重大ナ問題デア
ル、私ハ極左黨ニ反對デアリマス、同時ニ極右黨ニモ反對デアリマス、併ナ
ガラ思想問題ハ思想ヲ以テ解決シナケレバナラナイ、右ニシテモ左ニシテモ
直接行動ニ依ッテ問題ヲ解決スルト云フコトハイケナイ、聞ク所ニ依レバ、極
左黨ハ、説ク人ニ依ッテハサウ言ハナイガ、サウ言ハナイニ致シマシテモ多ク
ハ直接行動ヲ最後ノ手段トスルモノデアルト云フコトヲ申シテ居リマス、其
果シテ當レリヤ否ヤハ私ハ存ジマセヌ、果シテ當ッテ居ルト致シマシテモ其
極左ノ人……ガ國憲ヲ紊ルガ如キ行動ニ出デザル限り、矢張り何處迄モ我……ハ
單純ナル思想ノ問題トシテ之ヲ扱ハナケレバナラヌノデアアル、サウ云フ風ニ
私ハ常ニ考ヘテ居ル、ソレデ昨今ノ事柄ハ唯單一ニ我が同胞ノ一人ガ兇及ニ
倒レタ、ソレヲ遺憾トスル程度ニ止ラズ、又我が帝國議會ノ議員ガ兇及ニ倒
レタノヲ傷ムニ止ラズ、思想問題ト直接行動トノ關係ニ於テ我……ハ深キ茲ニ

注意ヲ拂ハナケレバナラナイ、又深キ感想ヲ起サザルヲ得ヌノデアアル、只一議員タル私ノ如キモノデモ、サウ云フ風ニ深刻ニ此問題ヲ考ヘル以上、國政變理ノ大任ニ當ラレテ居ル總理大臣始メ思想問題ニ特別ナ御所管ヲ有ッテ御出デニナル内務大臣ハ茲ニ深キ御感想ガアルベキコトデアルト云フコトヲ私ハ思ッタノデアリマス、從テ其御感想ヲ承ハリタイト思ッタノデアリマスガ、殘念ナガラ警察ノ取締ハアノ以上ハ出來ナカッタト云フ御答辯ヲ伺ッテ、私ハ非常ニ遺憾ヲ感ズルノデアリマス、此私ノ感想ヲ述ベテ御質問ヲ終リマス、御答辯ハ必シモ要求イタシマセヌ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第十四、大正十年法律第四十七號改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

大正十年法律第四十七號改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月一日

右特別委員長

侯爵 西郷從德

貴族院議長公卿德川家達殿

〔侯爵西郷從德君演壇ニ登ル〕

○侯爵西郷從德君 大正十年法律第四十七號改正法律案特別委員會ノ經過並其結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ二月二十一日ニ正副委員長ノ互選ヲ行ヒ、不肖其委員長ニ當選ヲ致シマシタ、二月二十三日ニ第一回ノ會議ヲ開キマシテ政府ノ説明ヲ求メマシタ、次イデ質問ニ移リマシタ、二月二十七日ニ第二回ノ會議ヲ開キマシテ質問繼續ヲ致シ、三月一日日本案ハ可決スベキモノナリト議決ヲ致シマシタ、會議中主ナル質問ニ付テ申上ゲマスト、北樺太、朝鮮及北海道ヨリ移住シタル所謂先住民ニ付テ其狀態、保護等ニ付テ質問ガアリマシタ、又樺太ノ町村制ハ現行北海道ノ町村制並ニ臺灣ノ現狀ニ對照シテ種々ノ質問ガゴザイマシタ、ソレカラ現在樺太ニ於ケル漁業ノ狀態トカ、森林伐採トカ、製材等ノ狀況樺太ニ於ケル其町村ノ基本財産トナルベギモノ、即チ森林又ハ土地ノ交付、漁場及漁業權ノ許可、教育費ノ負擔、醫師、産婆等ニ付テモ質問應答ガアリマシタ、森林ノ交付ハ調査委員ヲ設ケテ調査ノ上

無償デ交付スル手筈ナリトノコトデアリマス、又漁業權ハ他ニ財産ヲ有セザル漁村ニ限ッテ之ヲ與フルヤウニ考慮シテ居ルト云フ御話デアリマス、義務教育ノ教員ノ給料ハ國庫ノ負擔トスル、醫者、産婆等ニ對シテハ國庫ノ補助金ヲ認メテ居ルトノ御答辯ガアリマシタ、尙ホ改正案ハ島氏ノ希望ニ基クモノデアアルカト云フ質問ニ對シマシテハ町村民ノ陳情モアルケレドモ、現狀ニ鑑ミテ立案イタシタト云フコトデアリマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 原案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ノ通りデ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 日程第十五、馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二日

右特別委員長

高橋琢也

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 只今日程ニ上ボリマシテ居リマス馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ヲ殺ス處分ノ法律案ト云フ極ク長イ表題デアリマス、本案ノ委員會ハ本月ノ二日ニ開催ヲ致シマシテ、先ヅ政府委員カラ詳細ナル説明ガゴザイマシタ、本案ハ東北地方北海道此方面ニ屢、馬ノ傳染病……此傳染病ガ盛ニナリマシテ、政府モ之ニハ色々研究モシ、調査モシタルノデアルサウデゴザリマス、又各産馬場カラモ度々本院ニモ請願ガ出マシテ採擇モセラレタ、斯ウ云フノデゴザイマス、然ルニ此馬ヲドウシテモ撲殺シナケレバナラヌ、撲殺スルト云フノニハ人ノ所有物デアルカラ法律ガナクテハ出來得ナイ、斯ウ云フノデゴザイマシテ此法案ガ出マシタルノデアルサウデゴザイマス、明治四十四年勅令第一號デ此豫防法ヲ府縣長官ニ達セラレタサウデゴザイマスガ、何分研究シタ結果此病原モ分ラズ、又ドウ云フ病理デアルカ診斷モ十分ニ届キマセスト云フヤウナコトデ、到頭此豫防ト云フコトガ實地ニ行ハレ得ナカッタサウデアリマス、ソレデ段々流行ハ盛ニナツテ來ル、且ツ此流行ト云フモノハ何カラ傳染スルカト云フト蛇カラ出ルサウデゴザリマス、御承知ノ如クアノ北海道東北ニ居リマス馬ニ附キマス大キナ蛇ハ非常ナ害ヲナスモノデアリマシテ、ドウカスルト人ニモ害ヲスルモノデアリマス、此蛇ガイツモ病毒媒介スルノデゴザイマスト云フコトデゴザイマス、ソレト今一ツハ遺傳ニ出マスルノダサウデゴザリマス、併シ是マデモ實ハ牧場主ナドト協議ラシテ妥協ノ上デ殺スト云フヤウナコトハゴザリマシテ、サウシテ矢張り多少ノ手當ハヤツテ居ルサウデゴザイマスガ、此法律ガ通過イタシマシテ、是ガ法律トナリマシタ曉ニハ、此法律ニ依ッテ手當金ヲ交付シヤウ、斯ウ云フノダサウデゴザリマス、又

之ニ付キマシテハ既ニ關東長野其他ト……關東地方一般ニモゴザイマスルサウデスガ、殊ニ近頃ハ九州ニマデモ是ガ流行スルト云フコトデゴザイマシテ、非常ニ産馬地方ハ困難ヲシテ居ル趣デゴザイマス、ソレニ付キマシテ委員ノ四五ノ人カラモ質問ガゴザイマシタ、ソレナラバ手當ハドウ云フヤウニシヤルノカ、馬ノ評價ト云フコトハ法律文ニ在ルケレドモ、其評價ハドウ云フモノヲ標準ニシテヤルノカ、斯ウ云フヤウナコトモゴザイマス、ソレカラ又蛇ハ退治スルコトハ出來得ナイカ、斯ウ云フ質問ガゴザイマシタガ、此蛇ヲ退治ルト云フコトハ固ヨリ困難ナコトデゴザイマスト云フコトデス、又評價竝ニ時期ヲ質問シタ方モゴザイマシタケレドモ、是ハ馬ニ病毒ガ移リマシテ確ニハ貧血症ニナツタ、馬ノ傳染病デアルト云フコトガ分ツテ、初メテ其取扱ヲ致スノダサウデゴザイマス、併シ是ヘ交付シマスル手當金ハ馬ノ評價即チ生キテ居リマス中ノ價ト、ソレカラ屍體ニナリマシタ場合、倒レマシタ場合ノ其價ト之ヲ斟酌シテ其三分ノ一ヲ手當ニスルノダサウデゴザイマス、大シタ金デモナイ、且此馬ハ食用ニ致シマシテモ此馬肉ハ害ガゴザリマセヌサウデス、ソレ故ニ手當モ餘計ヤラヌデモ濟ム、斯ウ云フヤウナコトデゴザリマシテ、唯遺憾ナルコトハ一向學理上デモ實驗上デモマダドウ云フ病毒ガアルカ、ドウ云フ微菌ガ居ルカ、ドウモ分リマセヌサウデゴザリマス、外國ニモ有リナガラマダ研究ガ積マナイト云フコトデアリマス、併ナガラ實際ニ是ガ流行シテ居リマスルノハ年ニ依リマスト百四五十頭カラ四百頭五百頭ト云フヤウナコトデゴザイマシテ、相當ニ多數ニ馬ガ斃レマスル、又手當ヲ出シマスト言フテモ、現ニ委員ノ中カラモ之ヲ高價ナ馬デアッタラドウスルカト云フコトデゴザイマシタ、例ヘバ牝馬ノ如キ、又乘馬ノ如キハ萬金ヲ投ズル者ガゴザリマス、併シサウ云フコトハ是マデハ餘リ無イサウデゴザリマス、多クハ産馬地方ノ牧場ニ居リマスル馬ニ起リマスル病氣ダサウデゴザリマス、ソレ故ニ色々今申上ゲタヤウナ箇條ニ付テ質問モゴザリマシテ政府モソレゾレ答辯ヲ致シマシタ、質問ガ了リマシテ採決ニ入リマスルト、別段ニ討論ヲスル程ノ必要モ無イカラト云フコトデゴザリマシテ、全會一致デ可決ニナリマシタ、此段御報告イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 本案ヲ御二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案通リデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ御希望イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第十六ヨリ第三十一、請願、會議

意見書案

楯岡、寒河江間鐵道敷設ノ件

山形縣西村山郡谷地町長堀米則吉外二十名呈出

山形縣北村山郡楯岡町長高宮喜之助外二十三名呈出

右ノ請願ハ山形縣西村山郡寒河江町ヨリ北村山郡楯岡町ニ達スル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル利源ヲ開發シ産業ノ興隆ヲ促進セシムルモノニシテ且鐵道豫定線ナルニ拘ラス未其ノ開通ヲ見サルハ甚遺憾ナル

ニ依リ速ニ之ヲ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

軍人傷痍記章令中改正ノ件

廣島縣吳市士族大澤惟久外十五名呈出

宮城縣仙臺市東九番丁平民商山岸藤四郎外二十四名呈出

群馬縣群馬郡長野村平民農中嶋周吉外百十三名呈出

福島縣雙葉郡新山町平民農相樂昌外十五名呈出

秋田縣秋田市上米町平民商藤原富藏呈出

島根縣邑智郡高原村平民農伊藤健市郎呈出

和歌山縣和歌山市南休賀町士族商狩谷彌太郎外七名呈出

右ノ請願ハ軍人ニシテ傷痍ヲ受ケ兵役ヲ免除セラレタルハ假令傷痍ノ輕重アリト雖兵役義務ニ服シ國家ニ盡スコト敢テ軒輊ナキニ拘ラス軍人傷痍記章令ハ軍人傷痍記章受領者ヲ増加恩給受給者ニ限リ一時恩給受給者ヲ除外スルノ差別ヲ附シタルノミナラス願出ヲ條件トシタルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同令ヲ適當ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

長崎縣ニ高等水產教育機關設置ノ件

長崎縣長崎市東中町平民松村光磨呈出

右ノ請願ハ四面環海ノ我國ニ於テ水產業ノ振興ヲ圖ルハ緊要ノ急務ナルニ拘ラス未其ノ高等教育機關ノ尠キハ甚遺憾ナルニ依リ沿海或ハ遠洋漁業ノ中樞トシテ恰當ノ地ナル長崎縣下ニ之カ機關ヲ設置シ以テ斯業ノ發展ニ資

セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

山陰線鐵道速成ノ件

山口縣阿武郡萩町長林勇輔外二十二名呈出

右ノ請願ハ萩線鐵道及長門線鐵道ハ目下工事中ナルモ之ニ依リ山陰線鐵道全線ノ開通トナルノミナス之カ完成ノ遲速ハ日本海方面ニ於ケル交通上及運輸上至大ノ消長アルヲ以テ其ノ完成年度ヲ繰上ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル件

島根縣鮫川郡平田町士族長田哲二外十名呈出

長野縣更級郡中津村平民矢田鶴之助外二百二十三名呈出

右ノ請願ハ東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所ヲ獨立セシメ其ノ整備充實ヲ圖ルハ優良ナル農業教員ヲ養成シ以テ將來益増加セムトスル該教員ノ需要ニ應セシムルモノナルニ依リ速ニ之ヲ實現シ農業教育ノ普及ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

越中島線鐵道速成及越中島ニ貨物驛建設ノ件

東京市深川區佐賀町平民木村徳兵衛外四名呈出

右ノ請願ハ東京市深川區越中島ハ有望ナル海陸運輸連絡ノ地點ナルヲ以テ曩ニ政府ニ於テモ同地ニ鐵道敷設ノ計畫アリタルニ拘ラス目下其ノ工事ヲ中止セラレタルハ東京市發展上甚遺憾ナルニ依リ速ニ越中島貨物線鐵道及貨物驛ヲ起工完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

飛行事業ノ統制並擴張ニ關スル件

東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町士族長岡外史呈出

右ノ請願ハ航空事業ハ國防上並交通上緊要事ナルニ拘ラス我國ニ於テ斯業ノ振ハサルハ甚遺憾ナルヲ以テ航空行政統一機關ノ設置、航空並航空機製造ノ各獎勵法ノ制定、其ノ他請願人所案ノ如キ航空路ヲ設クルト共ニ是カ照明設備ヲ全フセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

知覽區裁判所出張所設置ノ件

鹿兒島縣揖宿郡喜入村長前田慶吉呈出

右ノ請願ハ鹿兒島縣揖宿郡喜入村ハ人口多ク近時登記事務夥多トナレルニ拘ラス地形管轄知覽區裁判所ニ達スル距離遠ク住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルヲ以テ同村ニ之カ出張所ヲ設置セラレタク廳舍敷地ハ無償ニテ提供スヘシトノ趣旨ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決

致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

名松線鐵道速成ノ件

三重縣名賀郡名張町長富永貞英外千三百九十名呈出

右ノ請願ハ未成線鐵道名松線鐵道ハ目下三重縣飯南郡松阪町方面ノ一方ノミヨリ起工中ナルモ斯クテハ同縣名賀郡名張町ト一志郡各村トノ永年密接ナル商業上ノ取引關係ハ全ク舊態ヲ破壞セラレ西部沿線住民ハ多大ノ不利ヲ蒙ルニ至ルヘキヲ以テ速ニ兩端ヨリ起工シ既定ノ如ク之ヲ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

群馬縣吾妻郡六合村ニ郵便局設置ノ件

群馬縣吾妻郡六合村長山田保平呈出

右ノ請願ハ群馬縣吾妻郡六合村ハ人口多ク且產業ノ發達ニ伴ヒ遞信事務夥多ナルニ拘ラス管轄郵便局ヲ距ルコト遠ク殊ニ降雪期ニ於テハ郵便物ノ集配不能ニ陥ルコトアルカ爲村民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

一時金撥兵恩給法改正即行ニ關スル件

廣島縣尾道市土堂町平民商鈴木卯吉外四名呈出

京都市油小路平民農土田巳之助外一名呈出

滋賀縣神崎郡八幡村平民農德岡實次郎外百五名呈出

廣島縣廣島市八丁堀町平民教師楠原仙太郎外二十名呈出

京都府葛野郡花園村平民農河崎宗吉呈出

香川縣木田郡川島町平民農小野坂喜三郎外三十六名呈出(三通)

滋賀縣栗太郡瀬田村平民農磯田安治郎外七十五名呈出(二通)

秋田縣雄勝郡西馬音内町士族商笹森源吉外十九名呈出(三通)

廣島縣豐田郡桃梨村平民上中仁一外六名呈出

栃木縣安蘇郡田沼町平民農菊澤勇七外七名呈出

德島縣美馬郡重清村平民商久米川和平外三名呈出(一通)

奈良縣宇陀郡三本松村平民農山中安松外二十二名呈出

右ノ請願ハ世態ノ進運ト經濟界ノ推移ニ伴ヒ文武官ノ恩給ハ漸次改正セラレタルニ拘ラス軍人傷痍者ハ單ニ一時金ヲ受ケタルモノアルモ生活上何等ノ保障ナク爲ニ今ヤ窮境ニ陥レルモノ尠カラサルハ國民士氣振興上甚遺憾ナルニ依リ速ニ恩給法ヲ改正シ以テ一時金傷痍者及無償傷痍者ニ對シテモ優遇安定ノ途ヲ講セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

飲食店取締法制定ニ關スル件

大阪府堺市榮橋通平民藤井照千代外三百名呈出

右ノ請願ハ世俗ノ所謂カフエー並酒場營業者ハ往々其ノ從業員タル婦女ト相俟テ社會風教ヲ壞亂スルモノ甚スキニ拘ラス當局ハ之レニ對シ料理飲食業取締規則準用ノ範圍内ニ止リ其ノ特殊弊害防止ノ取締ナキハ遺憾ナルニ依リ請願人等所案ノ如ク其ノ取締規則ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依

リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

石狩川架橋ノ件

北海道樺戸郡月形村長石井正作外千五百四十名呈出

右ノ請願ハ北海道樺戸郡月形村及空知郡北村ハ從來密接ノ關係ヲ有シテ相互ノ交通頻繁ナルニ拘ラス兩村ヲ隔ツル石狩川ニハ橋梁ナク年來不安不便ナル渡船ニ頼リ來往スル外ナキハ同地方振興上重大ナル障害ヲ與フルニ依リ速ニ兩村ヲ連絡スル準地方費道ニ屬スル同川渡船場ニ橋梁ヲ架設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

安倍川改修ノ件

静岡縣静岡市長小島源三郎外十名呈出

右ノ請願ハ静岡縣ニ於ケル安倍川ハ其ノ水源地ノ濫伐ト地質ノ關係上崩壞甚シク爲ニ河床漸次堆積シ氾濫常ナキハ附近住民ノ不安一方ナラサルニ依リ速ニ國費ヲ以テ安倍川本支川改修工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

新宮川改修ノ件

三重縣南牟婁郡御船村長倉本徳之助呈出

右ノ請願ハ新宮川ハ其ノ流域奈良、三重、和歌山ノ三縣ニ互リ運輸上重要ナル河川ニシテ地方産業ノ消長ニ至大ノ關係アルニ拘ラス明治二十二年ノ大洪水ノ爲甚シキ慘禍ヲ蒙リ今ヤ其ノ支流ニ至ル迄惡影響ヲ蒙リツツアルハ遺憾ナルヲ以テ之カ治水工事ヲ急施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

相野谷川改修ノ件

三重縣南牟婁郡御船村長風間寛外一名呈出

右ノ請願ハ三重縣南牟婁郡御船、相野谷兩村ヲ貫流スル相野谷川ハ本支流ノ關係アル新宮川ノ毎年數回ニ渉ル氾濫ノ爲同川ニ逆流シ沿岸耕地ノ浸害多大ナルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ新宮川ト共ニ治水工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 是ヨリ第一ニ戻リマシテ國務大臣ノ演說ニ關

スル件ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ紀男爵ノ御登壇ヲ望ミマス

○男爵紀俊秀君 私ノ質問ハ總理大臣竝ニ文部大臣ノ御出席ノ上デ質問ヲ致

シタイト存ジマス、若シ御二人ノ内御一人ダケ御出席ニナルト云フコトデア
リマスレバ總理大臣デ宜シウゴザイマスガ、大臣ガイラッシャラナイノニ質
問スルト云フコトハ出來マセヌ、如何デス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 紀男爵ニ申上ゲマス、總理大臣ハ只今出席セ
ラレマスサウデゴザイマスガ、文部大臣ハ出席不可能ダサウデゴザイマス、
暫ク御待ヲ願ヒマス

○男爵紀俊秀君 私ノ質問ハ極メテ短カクヤリタイト思ヒマスノデアリマス
ケレドモ、大分時間モ過ギテ居リマスルシ、總理大臣モ大分御出席ガ遅イヤ
ウデアリマスルガ、後日ニ延バシマシテモ宜シイデスガ、直グニ御出席ニナ
リマスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 只今此方ニ見エラレマス

〔男爵紀俊秀君演壇ニ登ル〕

○男爵紀俊秀君 總理大臣ノ御演說ニ對シマシテノ質問者ハ本日迄凡ソ二十
數名ノ多キニ達シテ居ルノデゴザイマス、殊ニ餘ス所會期ハ三週間足ラズニ
ナッテ居リマスルシ重要法案ハ山積サレテ居ル今日デアリマスルカラ、私ノ質
問ハ成ル可ク差控ヘタイト存ジテ居ッタノデゴザイマス、併ナガラ其後ノ政
府ノ行動竝ニ此壇上ニ於テノ御答辯ヲ伺ヒマシテ、甚ダ遺憾ノ點少シト致シ
マセヌノデ止ムナク此壇上ニ立チマシテ質問ヲ致シタイト存ジマス、私ノ質
問ニ對シマシテハ御答辯ハ、甚ダ願ヒ兼ネマスケレドモドウカ總理大臣御自
身ノ衷心ヨリ御出ニナッタ所ノ御答ヲ願ヒタイト、或ハ閣僚ノ進言ヲ容レ
ラレルトカ、或ハ屬僚ノ注意ニ依ッテ御答辯下サルト云フコトダケハドウゾ
御止メニナリマシテ衷心自ラ欺カザル御答辯ヲ得タイト存ジマスノデアリマ
ス、デ私ノ伺ヒタイト思ヒマスルノハ主トシテ思想問題ニ關シテデゴザイマ
スル、總理大臣閣下ニ於カセラレマシテハ此内外多事ノ時ニ當リマシテ、細
大トナク國務ノコトニ御苦勞ヲ下サイマシテ、殊ニ昨年ノ春共產黨ノ事件ガ
勃發イタシマシテヨリ以來、思想ノ善導ト云フコトニハ、最モ御心ヲ勞セラ
レマシテ、先刻議題トナリマシタル緊急勅令ナドガ其一ツデゴザイマスル、
デ思想問題ニ付キマシテハ特ニ御心ヲ勞セラレテ居リマスルト云フコトハ、
一月ノ二十二日ノ本會議ノアリマシタ時ニ、施政演說ヲ遊バサレマシタガ、
其施政演說タルヤ極メテ簡單ナモノデゴザイマシテ、五分カ七分間位ノ短イ
御演說デアリマシタケレドモ、思想ノ善導若クハ精神ノ作興ト云フコトニ付

キマシテハ繰返シ再度迄仰セラレタノデゴザイマスル、其再度迄仰セラレタ
中ニモ特ニ力ヲ込メラレテ御演說ニナリマシタノデアリマス、即チ前段ニ於
キマシテハ政府ハ就中思想ノ善導竝ニ精神ノ作興ニ注意シト云フコトヲ仰セ
ラレ、後段ニ於キマシテハ、政府ハ殊ニ思想ノ善導トカ國民思想ノ善導及精
神ノ作興ニ最善ノ努力ヲ致シ、此方針ニ依ッテ教育ノ改善ヲ圖ルハ勿論云々
ト云フコトヲ仰セラレタノデゴザイマス、デ最善ノ方法ト仰セラレ、就中ト
仰セラレ、殊ニト云フ字ヲ用キラレタト云フコトニ徴シマシテモ如何ニ閣下
ガ思想善導ト云フコトニ付キマシテハ、多大ノ御注意ヲ拂ハレテ居ルト云フ
コトハ、是ハ分ルデアラウト思ヒマスル、斯ノ如ク思想ノ善導ト云フコトニ
付キマシテハ御心ヲ勞セラレルニモ拘ラズ、私共見マスル所ニ於テハ果シテ
實行上ニ於テ遺憾ノ點ナキヤ否ヤト云フコトニ付テ、大イニ疑ガアルノデゴ
ザイマス、即チ導クモノハ導カレルモノヨリ……導カレルモノハ導クモノヨ
リモ、ヨリ從順デアリ、正直デアリ、眞面目デアリハシナイカト云フヤウナ
事實ヲ、時々目ノ前ニ見セ付ケラレルノデアリマスル、又教ヘラレルモノハ
教ヘルモノヨリハ正直デアリ、眞面目デアリ、從順デアリハシナイカ、監督
セラレルモノハ監督スルモノヨリハ從順デアリ、又正直デアリハシナイカト
云フヤウナ點ヲ、時々見セ付ケラレルノデゴザイマスル、デ此點ニ付キマシ
テ私共大イニ疑ヲ懷イテ居ルノデゴザイマス、デ以下極メテ簡單ニ申上ゲマ
スルガ、質問ノ趣意ヲ明ニ致シマスル爲ニ多少事實ニ付テ申上ゲテ見タイト
存ジマス、先ヅ人間此世ニ生レマシテ七ツカ八ツニナリマスルト小學校ニ入
學イタシマス、小學校ニ入學ラスルト云フト一番初メニ教師ガ何ヲ教ヘル
カ、訓育ニ付テ何ヲ教ヘルカト申シマス、御承知ノ通りニ小學ノ修身ノ卷
ノ一ヲ教ヘマス、其中ニドウ云フコトヲ書イテ居ルカト申シマスレバ、御承
知ノ通り時刻ヲ守レ、又行儀ヲ良クシロ、嘘ヲ言フナ、過チヲ隱スナ、喧嘩
ヲスルナト云フヤウナコトガ、ズット箇條書デ出テ居リマスノデアリマス、デ
其箇條書ニ付テハ一年間先生ガ出來ルダケノ方法ヲ考ヘテ、或ハ之ヲ古今ノ
歴史ニ徴シ、或ハ又東西ノ沿革ニ徴シテ、サウシテ極メテ嚴格ナル方法ヲ以
テ之ヲ教ヘルノデアリマス、即チ教師ガ生徒ニ先ヅ其一節ノ行儀ヲ良クシロ
ト云フヤウナコトヲ教ヘマスニ當リマシテ、先ヅ敬禮ヲスル時ニハ脱帽ヲシ
ロ、姿勢ヲ正シクシロ、兩手ヲ垂直ニ下セ、前半身ヲ前ヘ下ゲテ、サウシテ
挨拶ヲセヨト云フヤウニ、極メテ嚴格ナル方法ヲ以テ教師ガ生徒ニ教ヘルノ

デアリマス、又時間ヲ守レト云フヤウナコトニ付テモ、朝生徒ノ會シマスル即チ朝會ノ時ニ當リマシテモ一時一分デモ遅レマシタナラバ之ニ直チニ制裁ヲ加ヘル、或ハ喧嘩ヲスルトカ過チラ隠ストカ、偽リヲ言フト云フヤウナ時ニ於キマシテモ、極メテ嚴格ナル方法ヲ以テ教師ガ生徒ニ教ヘルノデゴザイマス、デ生徒ハ其事ヲ聞キマスルト總テノコトニ付テ實行ニ努メルヤウニ致シマス、又努メナケレバ必ズ制裁ガ之ニ加ハルノデアリマス、所ガソレヲ教ヘル教師ハドウデゴザイマセウカ、私共見テ居ル例ニ於キマシテハ、隨分此教員ノ會合ニ於キマシテ時間ヲ厲行シナイト云フコトガ隨分多イノデゴザイマス、其他只今五ツノ教デモ之ヲ實行シ得ラレナイト云フヤウナ傾キモ隨分アルノデゴザイマス、デ斯ウ云フ話ガゴザイマシタ、一年ノ終リニ先生ガ生徒ヲ集メテ、サウシテオ前達ガ一年ノ間ニ習ッタコトニ付テノ感想ヲ聞キタイト云フコトヲ申シマシタ所ガ、昔ノ子供ヨリハ今ノ子供ガ餘程進ンデ居リマスカラ、或其中デ確カ衆議院ニ出テ居ッタ人ノ子ダト思ヒマスガ、其子供ガ言フコトニハ、先生カラ豫テ嘘ヲ言フナ、喧嘩ヲスルナト云フコトヲ聞イテ居リマスノニ、私ノ御父サンノ話ヲ聞キマス、私ノ御父サンノ出テ居ル所デハ日本國中ノ偉イ人バカリガ集ッテ居ルノデゴザイマス、其日本國中ノ偉イ人バカリ集マッテ居ル衆議院デハ、能ク御父サンヨリ話ヲ聞クト喧嘩ガ始マルト云フコトヲ聞イテ居リマス、又御父サンノ話ニ、時々政府委員トカ或ハ大臣トカ云フヤウナ人が、時々演壇デ嘘ヲ吐カレルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、又過チラモ隠スト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト私等ハ過チラ隠シタライケナイ、偽リヲ言フタライケナイ、喧嘩ヲシタライケナイト云フテ先生カラ教ヘラレルガ、日本デ一番偉イ所ノ大臣ニガッタ時ニハモウ嘘ヲ言フテモ宜シインデアリマセウカ、又日本國中デ一番偉イ人ニナッテ衆議院ノ議員ニナッタ喧嘩ヲシテモ宜シイノデアリマス、カト云フコトヲ聞カレテ、先生ハソレノ答辯ニ困ッタト云フヤウナ話モ聞カサレノデアリマス、又工場主ト職工トノ關係ヲ見マシテモ、監督スル工場主ト監督セラレル職工トノ道德的ノ有様ハドウデアラウカ、ドウモ先刻申述ベマシタヤウニ、工場主ヨリハ寧ロ職工ノ方ガ從順ニアリ、又正直ニアリ、眞面目ナ者ガアリヤシナイカト思フノデゴザイマス、嘗テ私方ノ附近ニアル會社デ、職工ニ話ヲ聽カシテ貰フ爲ニ講師ヲ東京カラ招キマシテ、其講師ハ或修養園ノ先生デアッタ、其先生ノ御話ヲ聞イテサウシテ其話ニ依ッテ實行ヲスル

會ガアリマシタ、講師ガ二時間三時間程デゴザイマシタカ、諄々トシテ薰育道德ノ話ヲサレマシテ、ソレニ職工ハ有難ガッテ涙ヲ流シテ、ソレヲ聞イテシマッタノデアリマス、其御話ヲ聞キマシテカラ、其後デ或職工ガ其講師ノ前ニ進ミ出テ申シマスノニハ、誠ニ私ハ結構ナ御話ヲ承リマシタ、私ハ實ニ日本ノ男子ト生レタト云フコトハ先生ノ御話ニ依ッテ全ク意義ノアル次第デアル、誠ニ有難イ結構ナ御話デアルト云フコトヲ感ジマシタ、是程私ハ今日程有難イ御話ヲ聞イタ事ハアリマセヌ、私ハ是迄ハ其日稼ギノ職工デアッテ、毎日ノ糧ニ困ッテ實ニ人生ト云フモノハ厭フベキモノデアルト云フコトヲ感ジテ居リマシタガ、先生ノ御話ニ依リマシテ、初メテ私ノ夢ガ醒メテ、我々ハ日本ノ國民デアアル、日本ノ男子デアアル、ソレハ何ト有難キ意義ノアルコトデアラウト云フコトヲ痛感イタシマシテ、誠ニ私ノ前途ニ光明ヲ與ヘテ戴キマシタ、併ナガラ此御話ヲ私如キ其日暮ラシノ職工ニ聞カシテ戴クト云フコトハ實ハ勿體ナイノデアアル、ドウゾ其御話ヲ總理大臣閣下ニ東京ニ歸ッタ御話ヲシテ戴クトハ出來マスマイカト云フコトヲ、涙ト共ニ其講師ニ感謝ノ餘リニ話シタト云フコトヲ聞キマシタ、此話ヲ聞キマシテモ、如何ニ其職工ノ純真ナル心、純朴ナル心ニ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ其職工ノ總理大臣ニ御聽キヲ願ヒタイ、御聞カセヲ願ヒタイと言ヒマシタコトハ、決シテ其總理大臣ト云フ方ハ惡イコトヲシテ居ルカラ、ドウゾ改心スル爲ニ聞カシテ上ゲタイト云フ意味デ言フタンデハナクッテ、總理大臣ノヤウナ、位人臣ヲ極メテ天下ノ模範ニナルヤウナ方ニ聞イテ戴ケバ、我ガ日本ノ七千万ノ同胞ガソレニ依ッテ助カルモノデアアル、一言一句モ苟モセザル總理大臣ニ聞イテ戴クノト、自分ノヤウナ其日暮シノ者ガ之ヲ聞クノトハ、大イニ其間ニ價值ガ違ッテ居ルト云フコトガアル爲ニ、サウ云フ事ヲ講師ニ涙ナガラニ願ッタンダラウト思フノデアリマス、其他上司ノ下級官吏ニ對シテノヤウナ場合ニモ、隨分下級官吏ニハムツカシイ規律ヲ以テ責メマスカラ、從ッテ下級官吏ハ時間ヲヨク守ル、又人民ニ深切デアルト云フヤウナ點ニ付テ萬遺憾ナイヤウデゴザイマス、併ナガラ之ヲ監督シテ居ル所ノ上司ニ至ッテハドウデゴザイマセウカ、隨分上司ニナルト云フト定刻ニ遅ルルコト二時間、若シクハ三時間ト云フヤウナ人モアリマスシ、場合ニ依ッテハ公務ニ行カズシテ旅行スルト云フヤウナ人モアリマスルシ、隨分上司ハ我儘ナ事ヲシテ居リマスルガ、下級官吏ハ極メテ能ク柔順ニシテ居ルト云フヤウナコトヲ見マスルト、導ク

ト云フ者ガ、導カレテ居ル者ヨリモ、ドウモ結果ガ餘リ良クナイカノヤウニ思フノデアリマス、御承知ノ通り明治大帝ノ御製ニ、「行ヒ」ト云フ御題デ「世ノ中人ノ司トナル人ハ、身ノ行ヨ正シカラナム」ト云フ御製ガゴザイマスルガ、ドウシテモ人ノ司トナル者ハ、行ヒヲ先ヅ正シクシナケレバナラヌゾト云フ、誠ニ有難イ思召ガアルノデアリマス、又「學校」ト云フ御題デ「學ビ屋ニ入りニシヨリウナキ子ガ、物言ヒサヘモ變リケルカナ」ト云フ御歌ガアリマスルガ、是ハ學校ヘ入ッタ初メテノ兒童ト云フモノニハ、言葉ヲ氣ヲ付ケナケレバナラヌゾト云フ思召デアアル、上ニ立ツ者ハ行ヒヲ以テ模範トシテ居ル、又子供ガ初メテ學校ヘ入ッタ時ハ言葉ヲ大事ニシナケレバナラヌト云フ、其間ニ誠ニ有難キ思召ノアルト云フコトヲ拜シテ、私共實ニ感泣ニ堪ヘナイノデアリマス、然ルニ世ノ中ハドウデゴザイマセウカ、免角此上司ト云フモノハ、何カト云フト訓示々々デ訓示責メニスル傾キガアルノデアリマス、例ヘテ申シマスルト云フト、衆議院ノ選舉ガ始マル、サウスルト大臣ガ直ニ地方長官ヲ御招キニナッテ訓示ヲスル、地方長官ハ其訓示ヲ聽イテ家ヘ歸ッテ市町村長ナリ下級官吏ヲ集メテ、選舉ハ公平ニシナケレバナラヌゾト云フト訓示ヲスル、言葉ヲ以テ傳ヘルト其言葉ヲ以テ又他ニ傳ヘルト云フヤウニ、訓示々々ガ行キマスルノデアリマスルガ、扱テ衆議院ノソシナラ選舉ガ行ハレル時ニハドウデアラウカ、却ッテ訓示ヲ受ケタ所ノ町村長ヨリモ、其訓示ヲシタ所ノ上司ニ時々過チヲ來タスト云フヤウナコトガナイデモナイノデアリマス、昨年モ衆議院ニ於テ或人ガ選舉干涉ヲシタト云フノデ、非常ニ問題ニナリマシタ、又或地方ノ長官ガ選舉干涉ノ爲ニ罪ニ觸レタト云フヤウナ事例モナイノデモナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事ハ如何ナモノデアリマセウカ、私共考ヘマスルノニ、ドウシテモ導ク者ハ必ズ範ヲ示シテ、身ヲ以テ範ヲ示スト云フコトガ思想善導ノ一番最善ノ方法デアリマスマイカト考ヘルノデアリマス、デ、短キ御方針ノ御説明ノ中ニ再ビ、思想善導ニ付テハ最善ノ努力ヲ盡スンダト仰セラレタ閣下ハ、ドウ致シマシテモ身ヲ以テ其範ヲ示スト云フコトヲ爲サレナケレバ、最善ノ努力ヲシタト云フコトガ出來ナイカト存ジマスノデアリマス、過日豫算委員會ニ於テ三室戸子爵カラ文部大臣ニ對シテ、此議場ニ出入スル度ニ、玉座ニ對シテ敬禮ヲシナカッタ、ドウモ議員一同大臣總テ、政府委員ノ總テガ必ズ出入スル毎ニ敬禮ヲスルノニ、何デ文部大臣ガ敬禮ヲシナイカト云フコトヲ豫算委員會デ答メラレマシタ時

ニ、豫算委員會ニ於テ文部大臣ハ直ニ私ガ惡カッタノデアリマスト云フコトヲ謝マラレタト云フ御話ヲ聞イタノデゴザイマス、デ私ハ此話ヲ承リマシテ實ニ是デコソ日本ノ文部大臣デアアル、修身ノ卷ノ一ニハ過チヲ隱スナト云フコトガアルガ、日本ノ文部大臣ハ自分ガ惡カッタと思ヘバ直ニ其場デ惡カッタト言ッテ謝ッテ下サル、此謝ッテ下サレタト云フ行ヒハ、如何ニ數千萬ノ學生、兒童、其他ニ對シテモ、教育ニドレダケノ大ナル裨益ヲ來シタモノデアラウカト存ジタノデゴザイマス、唯遺憾ナノハ文部大臣ガ再ビ此演壇ニ立ッテ、此演壇ニ於テ議員諸君ノ面前ニ於テ公ニ明ニ此場所デモウ一度陳謝セラレテ居ッタナラバ、尙ホ一層效果ヲ奏シタト思ヒマスケレドモ、併ナガラ爲スハ爲サザルニ勝ルデアリマスカラ、豫算委員會ニ於キマシテ、左様ナ御行動ニ出デラレタト云フコトハ、非常ニ私ハ有難ク感ジテ、是デコソ日本ノ文部大臣デアアル、教育ノ首班ニ列セラレル方ダケアルト云フコトヲ感ジタノデゴザイマス、然ルニ此節ニナッテ甚ダ不思議ナ、ソレハ噂デモナケレバ通知デモナイノデ、日本國中ノ新聞全部ニ是ガ掲載サレテ居ルノデアリマス、其新聞ニハ、此程ノ優誼問題ニ付テ政府ガ勝利デ、此優誼問題ニ關スル決議案ト云フモノハ多數ヲ以テ否決セラレルモノデアアルト信ジテ居ッタ、所ガ豈圖ランヤ多數デソレガ通過シタ、是デハイケナイト云フノテ、ドウシテモ是カラハ貴族院ト政府ト云フモノト聯絡ヲ取ラナケレバイケナイ、ソコデ其聯絡ヲ取ルノニ聯絡係リト云フヤウナモノヲ置カナケレバイケナイ、貴族院諒解聯絡係ト云フヤウナモノヲ置カナケレバナラナイ、ソコデ文部大臣ニソレヲ命ジタト云フコトガドノ新聞ニモ載ッテ居ル、サウシテ其後ニ勝田文相談トシテ、ワシハ引受ケテハ居ナイケレドモサウ云フヤウナ話ガアッタ、デ何トカ貴族院ノ議員ニ諒解シテ貰ヒタイト思ッテ居ルノダト云フヤウナ文意ノ記事ガ其諒解係ヲ引受ケタト云フ後ニ載ッテ居ルノデアリマス、是ハ噓カ本當カ分リマセスガ、免ニ角日本全國ノ新聞ニソレガ載ッテ居ルノデアリマスガ、文部大臣モ居ラシヤルノデアリマスガ、果シテ何カ文部大臣ハ斯ウ云フ貴族院ノ諒解係ト云フヤウナモノヲ御引受ケニナッタノデアリマセウカ、サウ云フ事實ガナイノデアリマスルカ、ソレダケハドウゾ、特ニ文部大臣ニ伺ヒタノデアリマス、デ御引受ケニナッテ居ラナケレバ宜イノデアリマスケレドモ、若シ斯ウ云フモノヲ御引受ケニナルト云フコトニナッタラ、折角豫算委員會ニ於テ陳謝セラレタル閣下モ復再ビ過ヲナサルヤウナコトニナリハシナイダラウカト、甚ダ心痛

イタシマスノデアリマス、先年前内閣ガ貴族院ニ大問題ガ起ル度毎ニ、或會派ノ或ル二三ノ領袖ト貴族院以外ノ他ノ場所ニ會合シテ、常ニ其諒解ヲ求メラレ、其諒解ヲ求メタナラバ直ニ貴族院デハ其問題ガ成立スル、貴族院ト云フ所ハ形式的ニ議論ヲ相談シテ居ルケレドモ、實際ハ貴族院以外ニ於テヤツテ居ルノデアルト、所謂暗キ政治ヲ行ッテ居ルノデアルト云フ噂ガアリマシテ、此噂ニ或ハ誤解或ハ推測ヲ來シテ、サウシテ種々ニ推測セラレマシテ、色々ノ問題ヲ惹起シタコトガアルノデアリマス、若シ斯ノ如キコトガ實際アリトスレバ、實ニ非立憲極マルモノデアアル、今日普通選舉ガ行ハレテ明キ政治ヲ行ハナケレバナラス時ニ、或ル一會派ノ中ノ二三ノ人ト貴族院以外ノ或ル場所ニ於テ話ヲシテ、サウシテソレ決定シマフト云フヤウナコトニナリマスルト云フト、如何ニ立憲政治ヲ誇ッテ居リマシテモ、其實ハ舉ラナイト云フコトニナルダラウト思ヒマス、殊ニ文部當局ニ居ラシヤル所ノ方ガ、貴族院諒解係ト云フヤウナモノヲ御引受ニナッテ御ヤリニナルト云フヤウナコトニナリマシタラ、ドレダケ風教ノ上ニ害毒ヲ流スカ分ラナイト思フノデアリマス、ドウゾ文部大臣ガサウ云フモノヲ引受ケテ居ラレルノナラバ、玉座ニ對シテ敬禮ヲシナカッタノガ、惡カッタト陳謝サレタ過ト同ジヤウニ、過ヲ改ムルニ憚ル勿レデスカラ、ドウゾ此際ニサウ云フ諒解係ト云フヤウナモノヲ御止メニナッテ、サウシテ文教ノ上ニ、政治ノ上ニ超然トシテ處置セラレタイモノト思フノデアリマス、又傳フル所ニ依リマスルト、文部大臣バカリデハナイ、外ノ大臣閣僚其他モ此貴族院ノ兩稅委讓ニ付テハ有ラユル方法ヲ盡シテ諒解ヲサスノダト云フヤウナコトガ眞僞ノ程ハ分リマセスガ、新聞紙上ニ見エテ居ルノデアリマス、若シサウ云フヤウナコトガ事實ナリトセバ、是ハ憲政ノ進歩ニ非ズシテ憲政ノ退歩ダト思フノデアリマス、諒解サスナラバ幾ラモ諒解サス場所ガアルノデアッテ、此程來演壇ニ於テモ度々總理大臣大藏大臣閣下ハ諒解ニ努メラレテ居ルノデアリマスルシ、又特別委員會ノ席上ニ於キマシテモ、幾ラデモ諒解ヲ得ラレル途ガアルノデアリマスルシ、又各會派ニ於テモ御話ノ出來ナイコトハナイ、其席上ニ於テ皆ヲ集メテ御話ガ出來ルノデアアル、甚ダ粗末ノ言葉ヲ使ッテ如何デアリマスガ、或人間ト風ツツシニ差向ヒニナッテ話ヲ爲サルカラ誤解ガ起リ、推測ガ起ルノデアリマスカラ、ドウゾサウ云フコトヲナサラヌヤウニナサレタイ、ソレ等モ矢張り思想善導ノ一ツデハナイカ、思想善導ニ十分盡スト仰セラレナガラ、サウ云フコトヲシ

テ暗闇ニ仕事ヲナサルト云フヤウナコトニナルト、ドウシテモ思想ガ惡化セザルヲ得ナイト思フノデアリマス、ドウシテモ私ハ思想ノ善導ト云フコトハ先ヅ範ヲ示シ、サウシテ極メテ明ルイ政治ヲシテ行クノガ、是ガ立憲政治家ノ態度デアラウト思フノデアリマス、嘗テドナタデアリマシタカ、此席上デ政治家、殊ニ文教ヲ司ル所ノ政治家ハ範ヲ示サナケレバイケナイケレドモ、範ヲ示スト云フヤウナコトヲ、サウ云フ政治家ニ望ムノハ百年河清ヲ待ツガ如キモノデアアル、全ク夢ノ如キモノデアアル、全ク正反對ノ舉動ヲシテ居ルモノデアアル、ドウモ是ハ致方ナイト言ッテ、大變譯ラメノ宜イ御演說ヲナサイマシタケレドモ、今日思想國難トモ申スベキ此大事ノ時ニ當ッテハ、決シテサウ云フ夢ノ如キ話デアリ、百年河清ヲ待ツヤウナモノデアアルカラ、幾ラ惡イコトヲシヤウガ、ドンナコトヲシヤウガ、サウシテ置クヨリ外仕方ガナイデハナイカト云フヤウナ、今日デヤナイト私ハ思フノデアリマス、承ル所ニ依リマスルト、此節英吉利デハ英吉利固有ノ美德ノ紳士道德ト云フモノヲ高調イタシマス外ニ、日本ノ武士道ト云フモノヲ信條ニ加ヘテ、青年團ナリ或ハ青年訓練所デ專ラ之ニ依ルト云フコトヲ努メテ居ルト云フコトヲ聞クノデアリマス、日本ニ於テ武士道ガ萎靡シテ來タ、廢ッテ來タト云フコトヲ歎イテ居ルト云フ折柄、英國ニ於テ殊ニ將來アルベキ青年團ニ於テ、日本ノ武士道ヲ高調スルト云フコトハ、實ニ深山ニ梵音ヲ聞クノ感ガアルノデアリマス、閣下ハ嘗テ此壇上ニ於テ、ワシハ總理大臣デアアル、ワシハ政友會ノ總裁デアアル、別ニ威張ル譯デハナイガ、人カラハ決シテ制サレナイゾト、此壇上デ吐カレタコトガアルノデアリマス、併ナガラ其時ニマダワシハ陸軍大將デアアルト云フコトハ仰セラレナカッタ、ソレハ故意カ偶然カ知ラナイガ、陸軍大將デアアルト云フコトハ仰セラレナカッタ、併ナガラ私共ハ陸軍大將ニシテ、大政黨ノ首領デアッテ、サウシテ内閣ノ總理大臣デアアルト云フコトニ付テハ、最モ敬意ヲ拂ヒ、最モ信賴ヲシテ居ル一人デアアルノデアリマス、最モ秩序ヲ尊ビ最モ紀律ヲ尊ブ帝國ノ軍人ノ首班ニアル陸軍大將タル閣下ガ、總理大臣トシテ大政黨ノ首領トシテ、サウシテ範ヲ日本國ニ示シタナラバ、如何ニ思想ガ惡化シヤウトシマシテモ、閣下ノ御行動ニ依テ直チニ是ガ洗ヒ清メラレルデアラウト思ヒマス、ソコデ私ノ伺ヒタイト存ジマスノハ、閣下ハ是迄ノ御行動ハ、總テ範ヲ示シテ居ル御行動ト御自信遊バシテ居ルヤ否ヤ、又範ヲ示スニ最モ力ヲ盡サレテ居ルヤ否ヤ、範ヲ示スト云フコトガ最モ良イ方法デアリハ

シナイカドウゴザイマセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラシ
テモウ一ツハ先刻モ申述ベマシタ通りニ、監督セラル、者ヨリハ監督スル
者、又導カレル者ヨリハ導ク者ノ方ガ惡イト云フヤウナ傾キノアル今日デア
リマスルガ、ドウモ導カレル者ニ付テハ制裁ガアル、監督セラル、者ニ付テ
ハ制裁ガアル、教ヘラル、者ニ付テハ制裁ガアルガ、教ヘル者、監督スル
者、導ク者ニ付テハ監督ガアリマセウカ、思想善導ニ付テハ、最善ノ努力ヲ
シヤウト仰セラレタガ、政府ハ殊更ニ何カ最高ノ機關ヲ置キマシテ、サウシ
テ監督スル者、教フル者、導ク者ヲ監督スル何カ機關ヲ御造リニナル、御考ガ
ゴザイマスマイカ、例ヘバ會計ヲ検査スルニハ會計検査院ト云フ別箇ノ一ツ
獨立シタ官衙ガアル、行政訴訟ニ對シテハ行政裁判所ガアルト云フヤウナ具
合ニ、何カ監督スル者、教フル者、上ニ立ツ者ヲ制裁スル機關ヲドウシテモ
置カナイト云フト、唯、下ノ者ハ行ヘ行ヘ、上ノ者ハ唯口先キダケデ導イテ
行ケバ宜イト云フヤウナコトニナリマシタラ、幾年經ッテモ是ハ善導セラル
ルコトガ出來ナイ、是コソ百年河清ヲ待ツ感ガアリハシナイカト存ジマスノ
デアリマス、其點ニ付テ、閣下ハ今後貴族院ニ於キマシテ、諒解係ト云フモ
ノヲ置イテ、一人ヅツ風潰シニスルト云フヤウナ、サウ云フ暗イ行ヒハ爲サ
レハシマスマイガ、世上サウ云フヤウナ風評ヲ聞キマスガ、決シテサウ云フ
御行動ニ出デズニ、若シ諒解ヲ求メル時ニハ此議院ニ諮リ、又委員會ニ諮リ、
或ハ會派デ御話ヲ爲サイ、ソレデ諒解シナケレバドウ云フ方法ヲ設ケテモ諒
解スル折リガナイダラウト私ハ思フノデアリマス、折角思想善導ト云フコト
ニ力ヲ盡サレ、殊ニ思想善導ト云フコトニ付テハ最モ便利ノ御地位ニアル所
ノ文武兩道ノ首班ニ立タレテ居ル閣下デアリマスカラ、此際特ニ閣下ニ對シ
テ、思想善導ノ最良ノ方法トシテ、範ヲ示サレルヤ否ヤ、範ヲ示スニハ先ヅ
直面シタ、當面ニ直グ起ッテ來ル所ヲ此諒解係ト云フヤウナ、サウ云フヤ
ウナモノヲ御止メニナルト云フ御考ガナイノデアリマセウカ、ソレ等ノ點ニ
付テ伺ヒタイト存ジマス、申上ゲタイコトハ、マダ澤山アリマスルガ、時間
モ段々切迫イタシテ參リマスルカラ、此位ニ致シテ置キマスルガ、ドウゾ失
禮ナ言葉ヲ色々申上ゲマシタ段ハ御許シ下サイマシテ、サウシテサウデア
ルトカナイト云フ極メテ簡單デ宜シウゴザイマスルカラ、明快ナ御答辯ヲ得
マスレバ、是ハ私一人ノ仕合セデナイ、日本國民ノ仕合セデアラウト思ヒマ
スノデ、甚ダ失禮ナコトヲ申上ゲマスガ、閣下ハ度々此壇上ニ於テ誠心誠意

事ニ當ルト云フコトヲ仰セラレマシタガ、御承知ノ通り大學ニ「誠意トハ自
ラ欺ク毋キナリ」ト云フコトガアリマスカラ、ドウゾ自カラ欺カザル良心ヨ
リ出デタル所ノ御答ヲ、閣下ノ何方ニモ御相談ノナイ、閣下御一人ノ考ヲ以
テ此御答ヲ願ヒタイト存ジマス、尙ホ文部大臣ニ關係イタシマシタコトハ、
恐入リマスルガ、文部大臣カラ御答辯ノ程ヲ願ヒタイト存ジマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今紀男爵ヨリ御尋ノコトニ付キマシテ御答
申上ゲマス、先ヅ以テ私ニ範ヲ示スト云フ意思ハアルカナイカト云フコトノ
御尋デアリマス、私ハ果シテ私ノ行動ガ範ニナルカナラヌカハ別ト致シマシ
テ、私ハソレニ努メル積リデ居ルノデアリマス、私ハ今日マデノ行動ニ於テ、
自ラ欺クト云フコトハ決シテ致サヌ積リデ居リマス、又自ラ信ジテヤッテ居
ルノデアリマスル、私ハ兎ニ角自ラ正シイ、自ラ是ガ宜イト斯ウ信ズルコト
ニ向ッテ進ンデ居ルノデアリマス、併シ私ハ他ノ批評若クハ其教ハ喜ンデ御受
ケヲシ、又ソレニ依ッテ自ラ顧ミタイト考ヘテ居ルノデアリマス、就キマシテ
ハ文部大臣ニ關係スル御尋ガアリマシタガ、私ハ文部大臣ニ諒解係ト云フコ
トヲ命ジタ覺エハアリマセヌ、ソレダケハハッキリ申シテ置キマス、種々ナ
ル難談ノ中ニ貴族院ニ席ヲ有ッテ居ル諸君ガ、貴族院ノ諸君ト種々話ヲセラレ
ル機會ガ多カラウナドト云フコトハ、難談ノ中ニハ種々アルコトデアリマス
ケレドモ、私ガ文部大臣ヲ貴族院ノ諒解係ニシタナドト云フコトハナイコト
デアリマス、何レ又文部大臣カラモ御答ガアラウト存ジマス、又私ハ紀男爵
ガ言ハレル如ク諒解係ト云フモノヲ置ク必要ハ、私ハナイト存ジマス、又政
府ノ意思ヲ十分徹底セシメル上ニ付キマシテハ、議場ハ固ヨリノコトデアリ
マス、又各會派モアルノデアリマス、又御互ニ同僚ノ關係モアルノデアリマ
ス、殊ニ諒解係ヲ置イテ、其人ニ而モ貴方ノ仰シヤル所謂暗イ所ニ於テ、左
様ナコトヲスルト云フコトハ私ハ必要ヲ感ジテ居リマセヌ、ソレダケハ申シ
テ置キマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 只今紀男爵ヨリ御尋ニナリマシタ、私ガ貴族院ノ
諒解係ニナルト云フヤウナ點デアリマスルガ、是ハ只今ノ内閣總理大臣ヨリ
御答辯ニ相成リマシタル如クニ、全ク無イコトデアリマス、唯内閣總理大臣
ヨリモ御話ノ如クニ、難談ノ中ニ左様ナコトヲ言フモノ等ガアリマシテ、實

ハ私甚ダ是ガ爲ニ迷惑ヲ蒙ッテ居ルト云フヤウナ次第デアリマスルカラシテ、是ハドウカ左様御承知ヲ願ヒタウゴザイマスガ、又種々教育上ニ付キ或ハ思想ノ上ニ付キ、御述べニナリマシタ事柄ニ付キマシテハ、一々御尤ナコトデアリマスルノデ、宜ク是ハ拜承ヲ致シテ置キタイト思ヒマス

○男爵紀俊秀君 私ノ質問ハ單純ナ問題デスカラ、サウデナイトカ、サウデアルトカ仰シヤレバ、此方ハサウデナイト思ヒマシテモ、ソレヲ追究スルコトハ出來ナイノデアリマス、是レ以上御答ヲ願ヒマシタ所デ、只今ノ御話ヲ繰返スダケデアリマスカラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 高橋君ノ質問ニ對シテ遞信大臣ヨリ御答ガアルサウデス

○高橋琢也君 簡單デ宜シウゴザイマス

〔國務大臣久原房之助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(久原房之助君) 先般高橋君カラ航空ノコトニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、御答ガ遅レテ居リマシタガ、只今申上ゲマス、日本ノ民間航空ハ御話ノ通りニ歐米ノソレト比較イタシマシテ非常ニ遅レテ居リマシテ、誠ニ遺憾ノ極ミデゴザイマス、之ニ對シマシテ其對策ヲ講ズル爲ニ調査會ガ設ケラレマシテ、其結果民間ノ航空輸送會社ヲ設立スルコトガ計畫セラレマシテ、之ニ對シテ昭和三年度カラ十一ケ年ヲ期シテ一千九百九十七万ト云フ補助金ヲ給スルト云フ案ガ出來マシテ、是ハ昨年ノ特別議會デ協賛ヲ經マシテ、確定シタ次第アルノデアリマス、其後其計畫ニ依リマシテ、ソレハ實行セラレマシテ、會社モ設立出來マシテ、ソレハ皆仕事ハ進捗イタシマシテ、本年ノ四月カラ愈々飛行機モ飛バヤウナ状態ニ今ナッテ居ル……ナリツツアル所デアアルノデゴザイマス、ソレデ是ガ働キ出シマスレバ、初メテ此民間飛行界ニ一生面ヲ開キ得ルコトト期待サレテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ又政府ニ於キマシテモ、此航空路ノ新設及ビ完成ニハ大イニ意ヲ用キテ居リマス次第デ、是ハ昭和二年度カラモ色々進メテ居リマスルガ、尙ホ四年度カラモ三年間ヲ期シマシテ、三百八十万圓ノ經費ヲ計上シマシテ、其完成ヲ期シテ居ル次第デゴザイマス、即チ航空路ノ完成ト申シマスルノハ、申ス迄モナク御承知デモゴザイマセウガ、此飛行場ノ新設、此増設航空標識ヲ設ケマスコト、又無線電信ナドノ通信機關ヲ完成スル、ソレ等ノ設備ノ完成ヲ意味シテ居ルコトデゴザイマスガ、ソレ等ハ其費用ニ依リマシテ相當設備モ届ク積リ

デ居リマス、ソレデ此計畫ニ依リマシテ、漸次歐米ト比較シマシテモ、遅レナイ程度ノ發達ヲ爲シ得ルコトト考ヘテ居リマス次第デアリマス、大略チヨットソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○高橋琢也君 簡單デゴザイマスカラ、此席カラ御許シヲ願ヒマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○高橋琢也君 只今遞信大臣ノ御答デ、段々航空事業ニ付テハ補助マデモ下サルヤウニナッテ居ッテ、誠ニ結構ダト思ヒマス、航空事業ガ如何ニモマダ幼稚デゴザイマス云フコトハ、今大臣カラモ御話ノ上ニ窺ハレルヤウデゴザイマス、私ガ實ハ何ッタノハ戰時矢張り航空機モ徵發セラレルモノデアラウト存ジテ居リマシタ、サウスルト民間ノ飛行機デモ矢張り十分ナ發達ガ出來テ居ラナイト云フト、戰時ニ間ニ合ハナイデハナカラウカト云フコトガ一つト、先頃海軍大臣モ、陸軍大臣モ大變陸海軍ノ飛行機ハ進ンデ居ル、斯ウ仰シヤルヤウナ御話デゴザイマシタ、是ハ無論デゴザイマセウト存ジマス、唯、先年千葉縣デ五十二名ノ佛蘭西ノ航空教師ヲ傭フテ陸軍ガ……現ニ我々ハ招待ヲ受ケテ……陸軍大臣ノ招待ヲ受ケテ參リマシタコトガゴザイマシテ、此際佛蘭西ノ教師ハ日本ノ人ハ誠ニ模擬スルコトガ上手デゴザイマス云フ、誠ニ折角褒メテ貰ッタヤウデアリマスガ、實ハ發明ハ出來ナイガ眞似スルコトガ上手デアアル、斯ウ言フタヤウナコトデゴザイマシタガ、甚ダ遺憾ニ思ヒマシタ、併シ今日ハエライ進ンデ居ルト云フコトデゴザイマスルガ、此頃陸軍ノ豫算ヲチヨット見マスルト云フト、教師ヲ招聘スルコトガゴザイマシテ、其費用ガ見積ッタアル、之ヲ見ルトマダ何カ不備ナ所ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ懸念モゴザイマシタカラ、殊更ニ伺ッタ次第デゴザイマス、大體分リマシタカラ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 是ニテ日程第一ノ質疑通告者ハ悉ク終了イタシマシタ、今日ハ是ニテ散會イタシマス、次ノ議事日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス

午後四時七分散會

